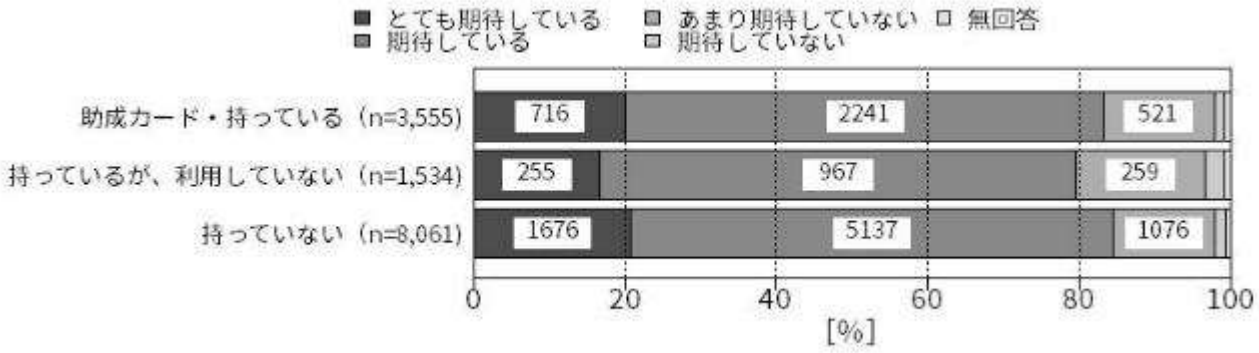
塾代助成カードの所持状況別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
（保護者票　問 18 × 保護者票　問 14(4)）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

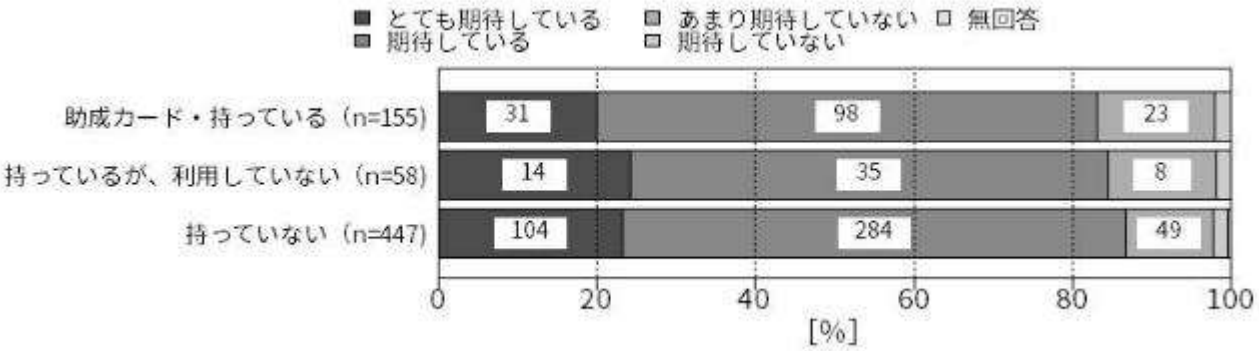


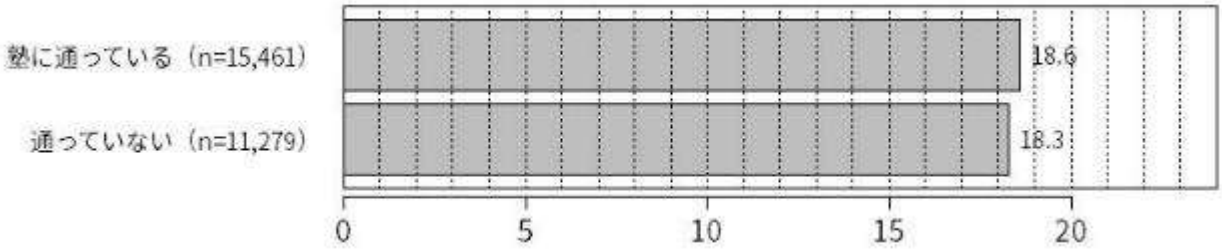

**図 223. 塾代助成カードの所持状況別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（子どもへの将来の期待）**

塾助成カードを持っていない人は、子どもの将来を「とても期待している」と回答した割合が 23.3%であったのに対し、持っているが利用していない人が 24.1%、持っている人が 20%であった。

学習塾等の利用状況別に見た、子どものセルフ・エフィカシー
（子ども票　問 15 × 子ども票　問 26(1)～(6)）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 148 上の説明参照。

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

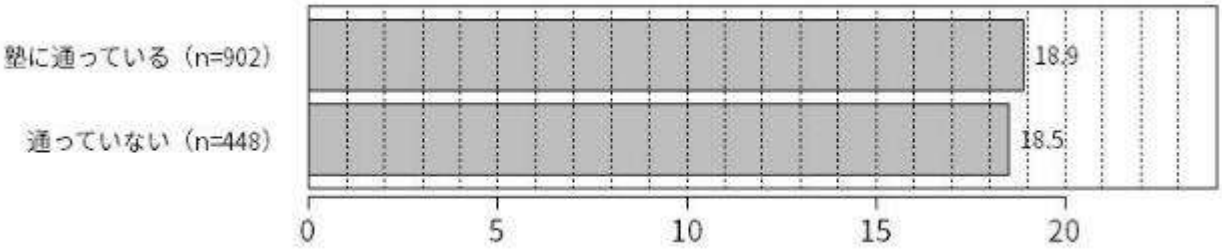
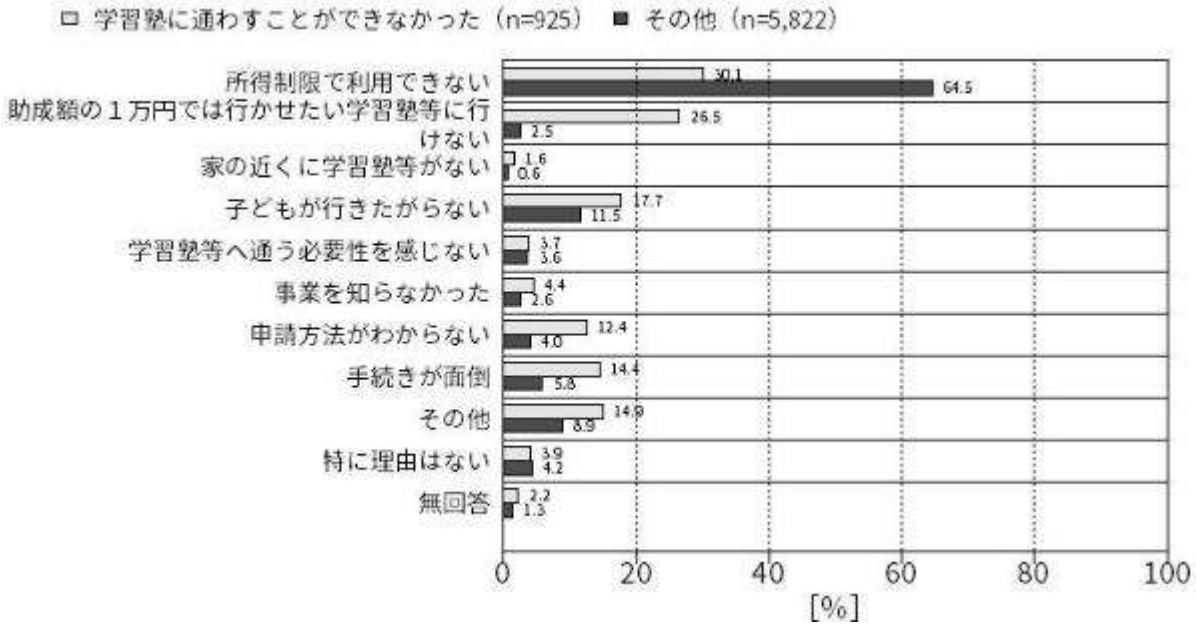



**図 224. 学習塾等の利用状況別に見た、子どものセルフ・エフィカシー**

勉強を中心とした塾に通っていない人は、自己効力感（セルフ・エフィカシー）の平均点が 18.5 点であったのに対し、塾に通っている人は 18.9 点であった。

経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、塾代助成カードを持っていない理由
（保護者票　問 13 の 9 × 保護者票　問 20）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

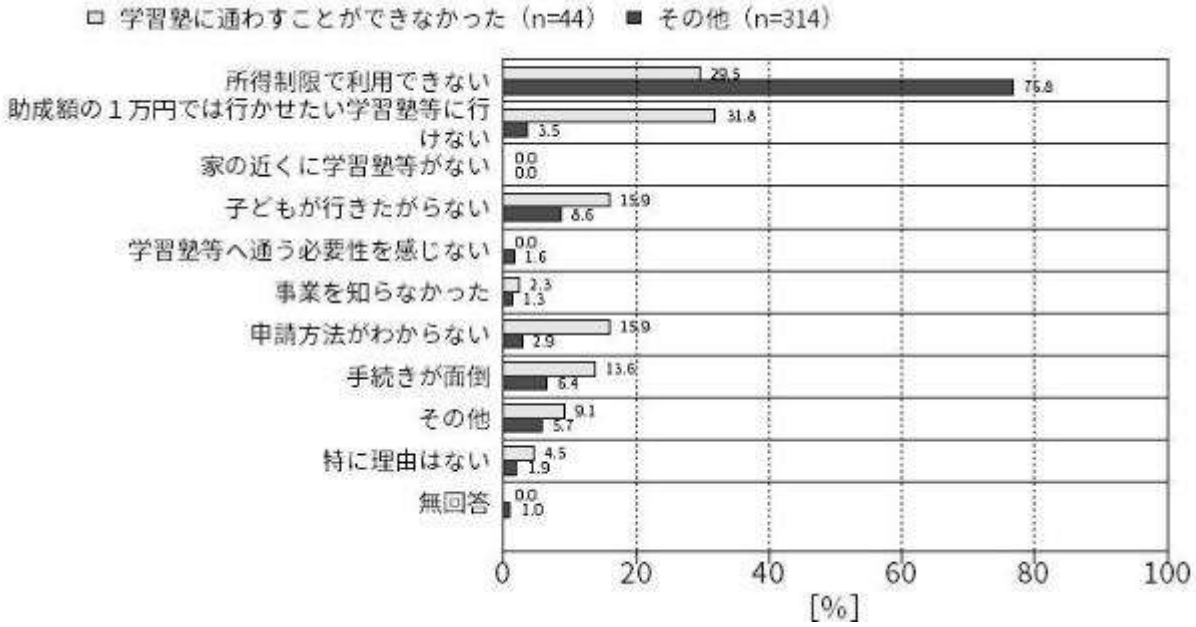
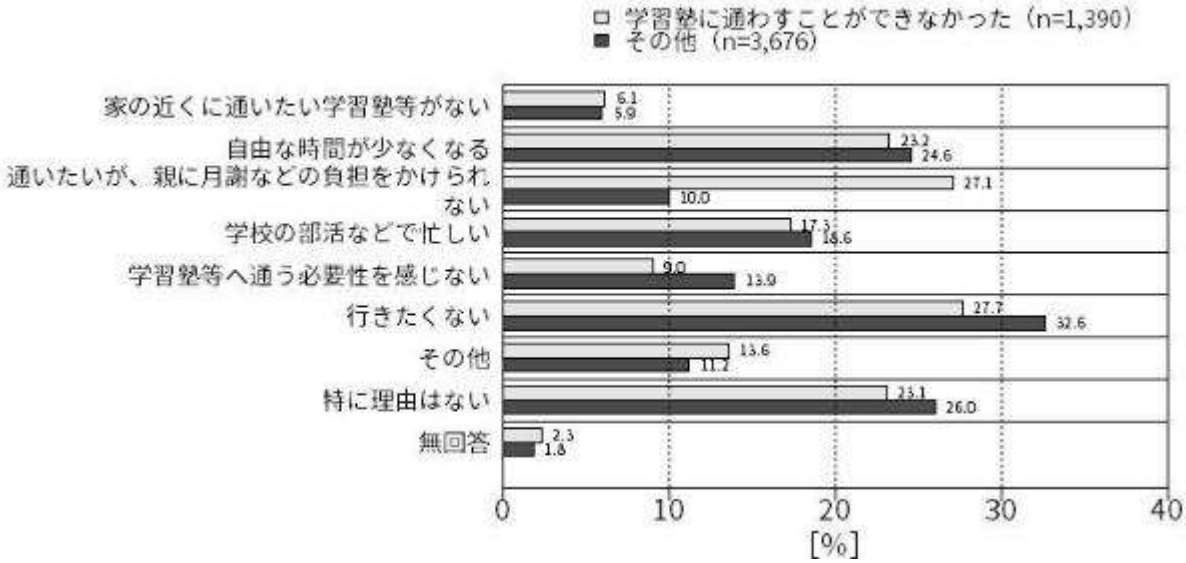



**図 225. 経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、塾代助成カードを持っていない理由**

塾へ通わせられなかった人は、「助成額の１万円では行かせたい学習塾等に行けない」という理由で塾代助成カードを持っていない人が 31.8%と多かった。

経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、学習塾等に通っていない理由（保護者票　問 13 の 9 × 子ども票　問 17）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

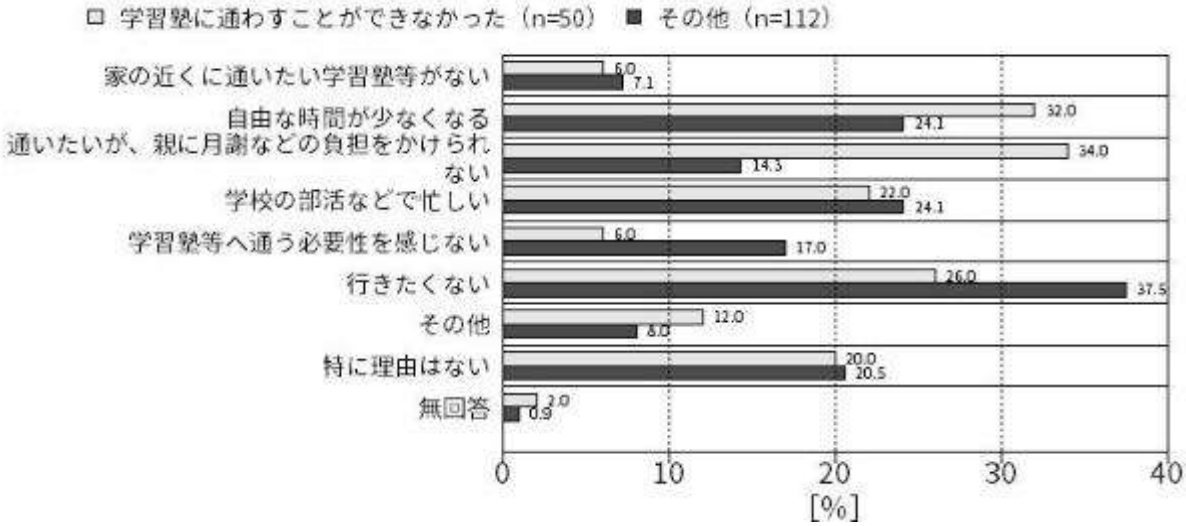


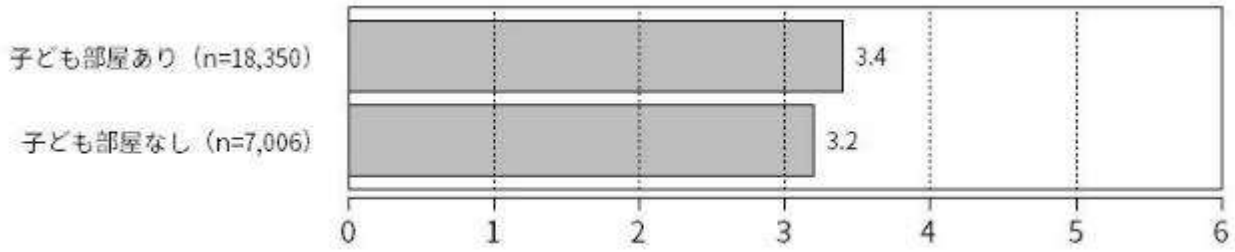

**図 226. 経済的な理由で学習塾に通わすことができなかったかどうかと、学習塾等に通っていない理由**

塾へ通わせられなかった人は、「通いたいが、親に月謝などの負担をかけられない」という理由が 34%と多かった。

子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値（子ども票　問 25 の 3 × 子ども票　問 14）

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30 分より少ない」「3. 30 分以上、1 時間より少ない」「4. 1 時間以上、2 時間より少ない」「5. 2 時間以上、3 時間より少ない」「6. 3 時間以上」の 6 つの時間枠からひとつを選択させた（「7. わからない」は除く）。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

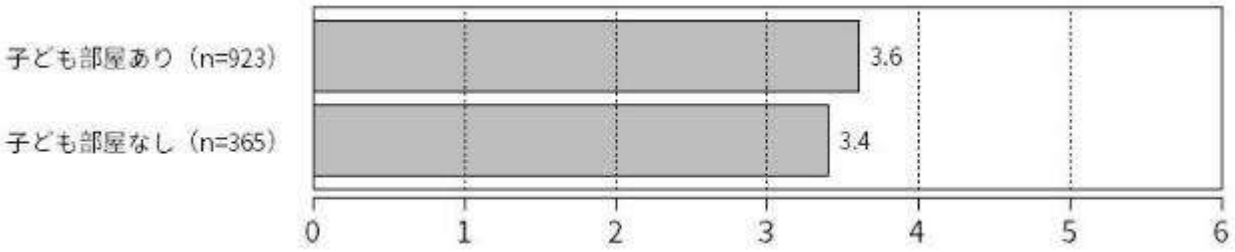
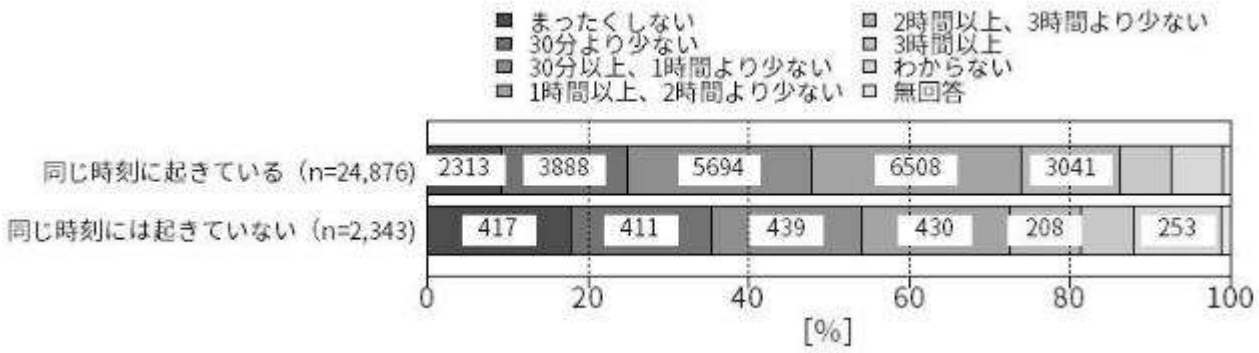



**図 227. 子ども部屋の有無別に見た、勉強時間の平均値**

子ども部屋がある場合は 3.6 時間、子ども部屋がない場合は 3.4 時間であった。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間（子ども票　問 2 × 子ども票　問 14）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

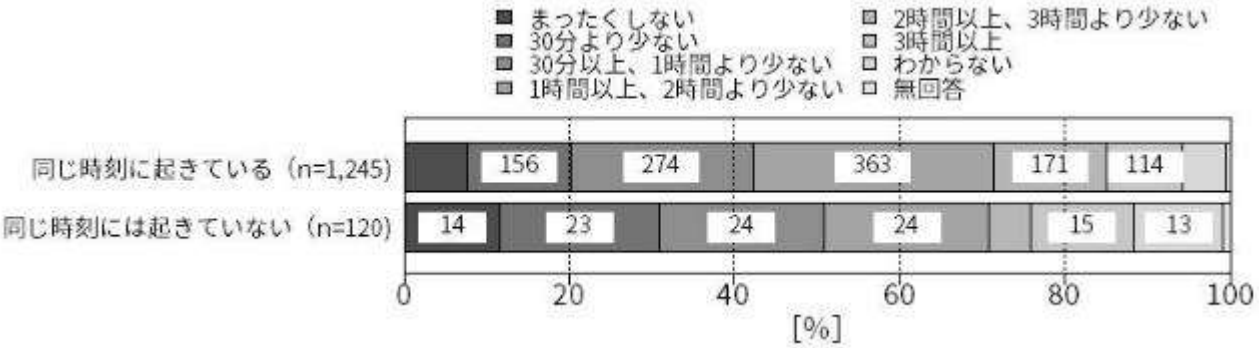
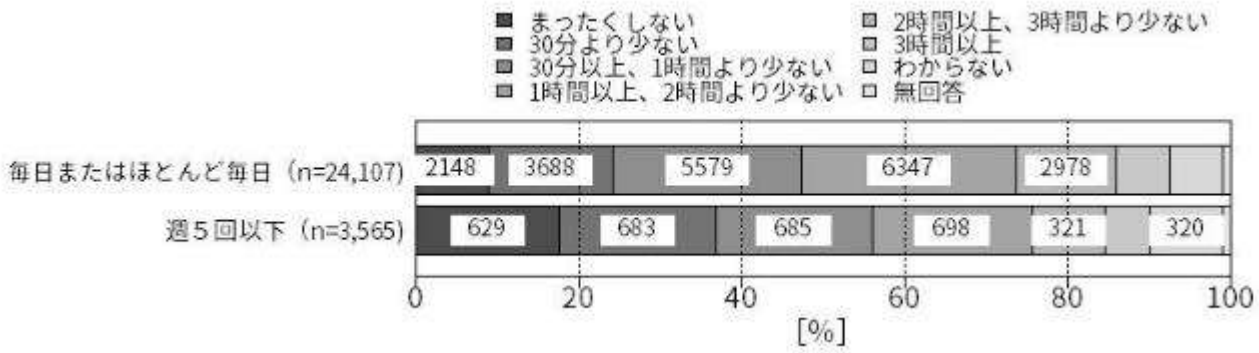



**図 228. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の勉強時間**

ここでは、子ども票問２において「起きている」「どちらかと言えば、起きている」と回答した子どもを「同じ時刻に起きている」、「あまり、起きていない」「起きていない」と回答した子どもを「同じ時刻には起きていない」としている。起床時間の規則性別に授業以外の勉強時間を見ると、「同じ時刻に起きている」子どもの方が、「30 分以上、１時間より少ない」、「１時間以上、２時間より少ない」、「２時間以上、３時間より少ない」と回答した人の割合が高い。「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくしない」と回答した人は 11.7%となっている。

朝食の頻度別に見た 、授業以外の勉強時間（子ども票　問 5(1) × 子ども票　問 14）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

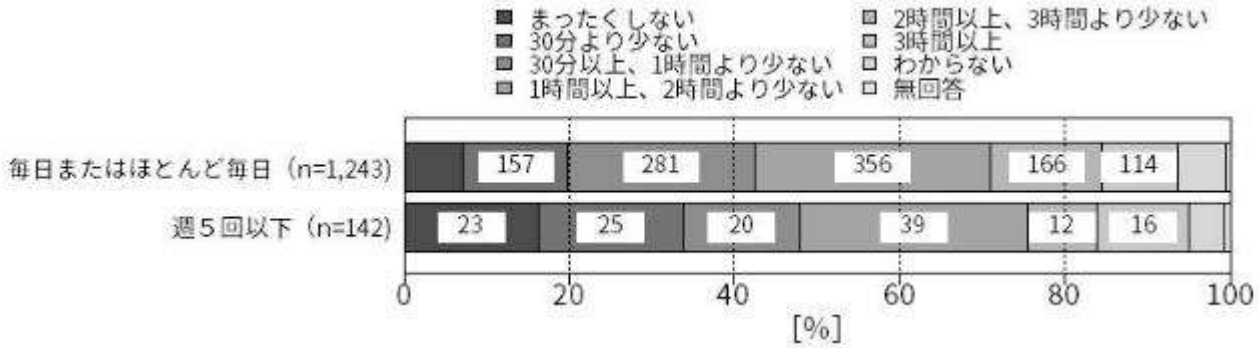
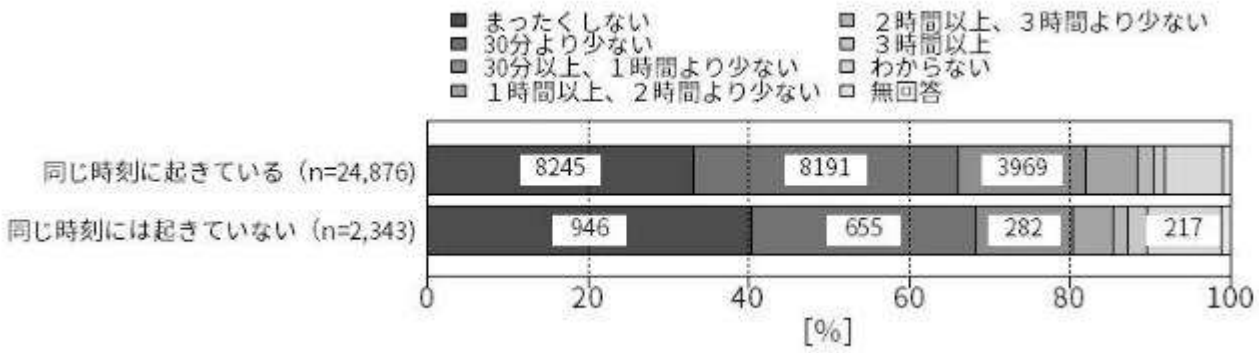



**図 229．朝食の頻度別に見た、授業以外の勉強時間**

ここでは、子ども票問５において「毎日またはほとんど毎日」と回答した子どもを「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週５回以下」としている。朝食の頻度別に授業以外の勉強時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは 12.6%であった。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30 分以上、１時間より少ない」「１時間以上、２時間より少ない」「２時間以上、３時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ 22.6%、28.6%、13.4%であった。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票　問 2 × 子ども票　問 19）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

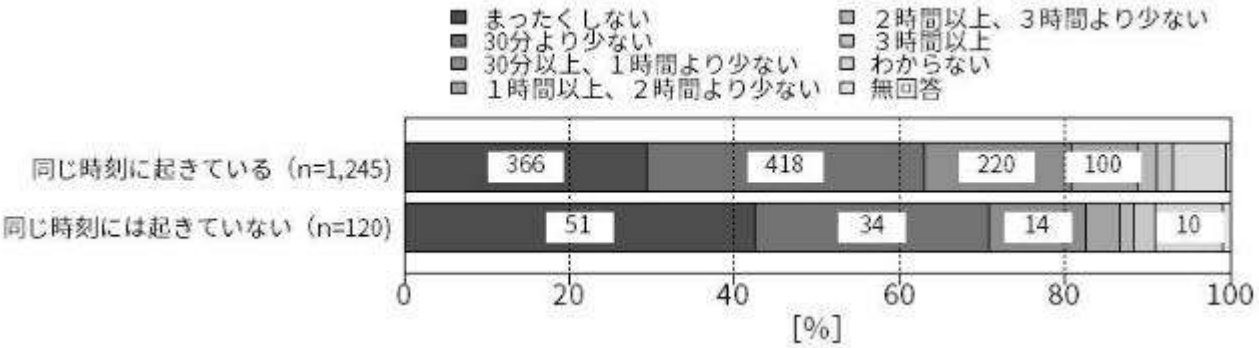
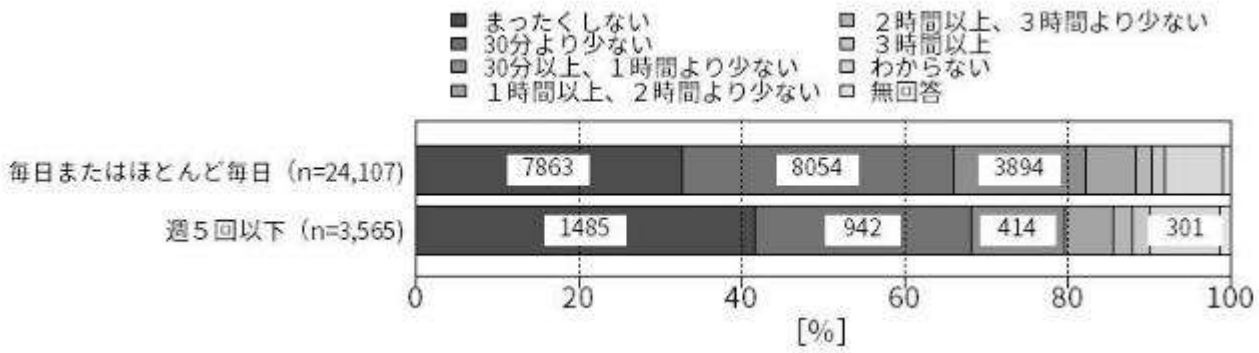



**図 230. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間**

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、「同じ時刻には起きていない」子どもでは、「まったくしない」と回答した人は 42.5%であった。

朝食の頻度別に見た 、授業以外の読書時間（子ども票　問 5(1) × 子ども票　問 19）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

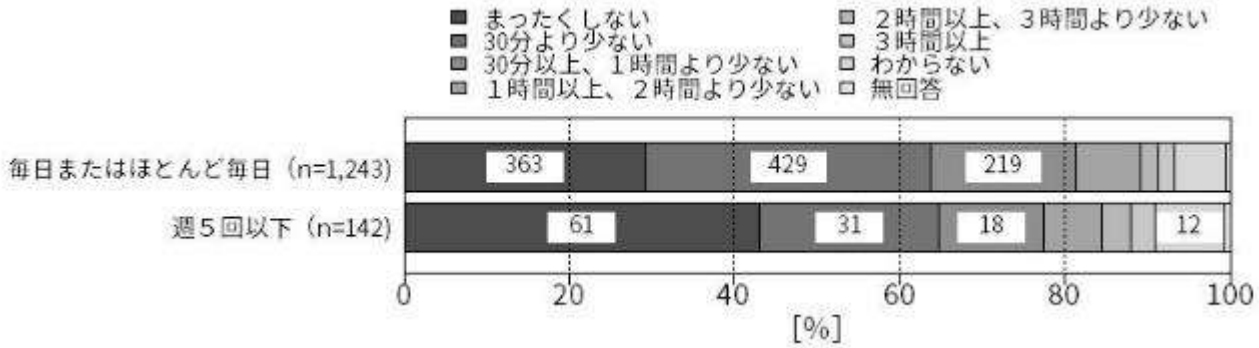


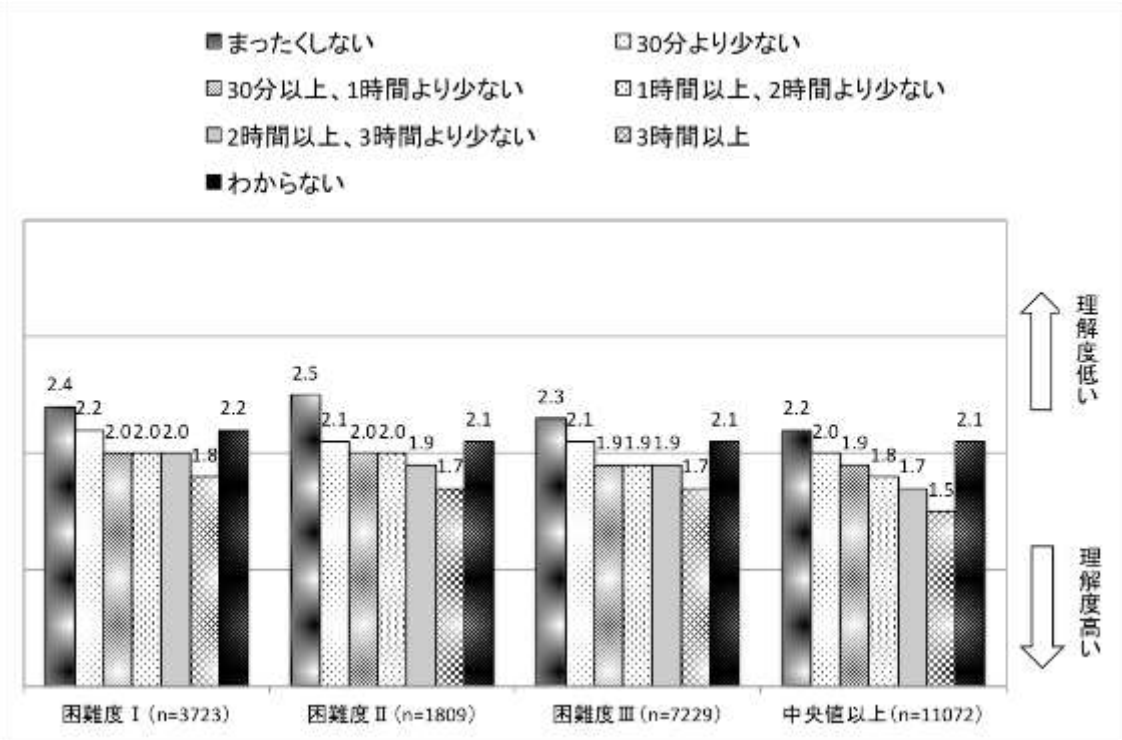

**図 231．朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間**

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「まったくしない」と回答したのは 29.2%であった。また、同じく「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる子どもでは、「30 分以上、１時間より少ない」「１時間以上、２時間より少ない」「２時間以上、３時間より少ない」と回答した子どもはそれぞれ 17.6%、7.7%、2.3%であった。

困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連（子ども票　問 18）

※学習理解度について、「1. よくわかる」～「4. ほとんどわからない」まで 4 項目で評定させた。数値が低いほど、学習理解度が高いことを表す。

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

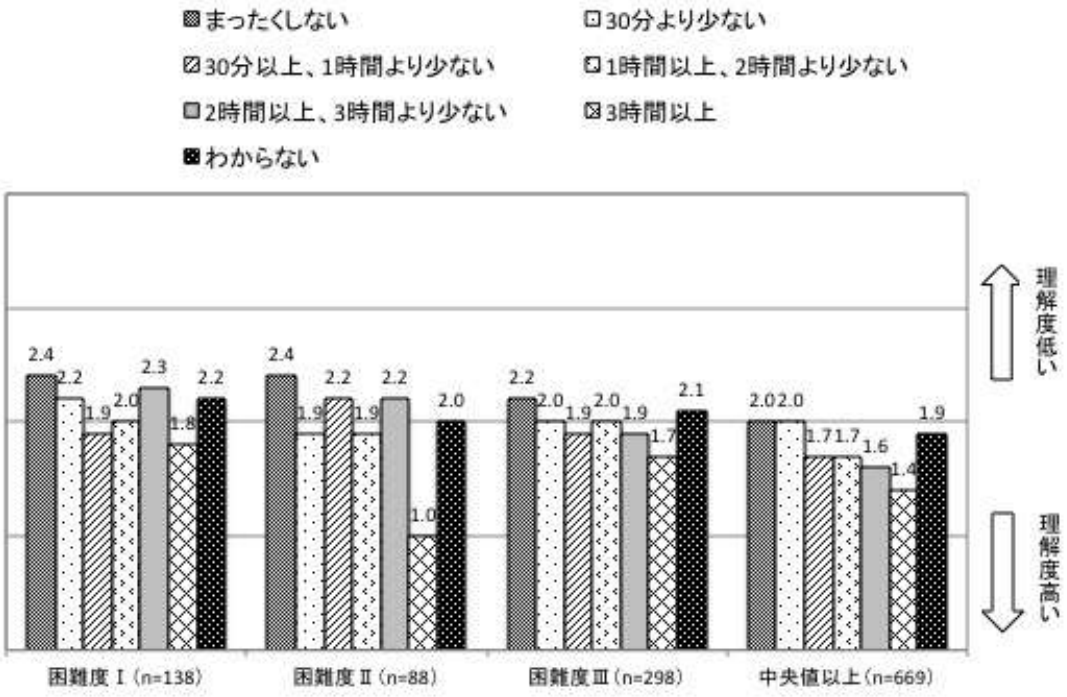
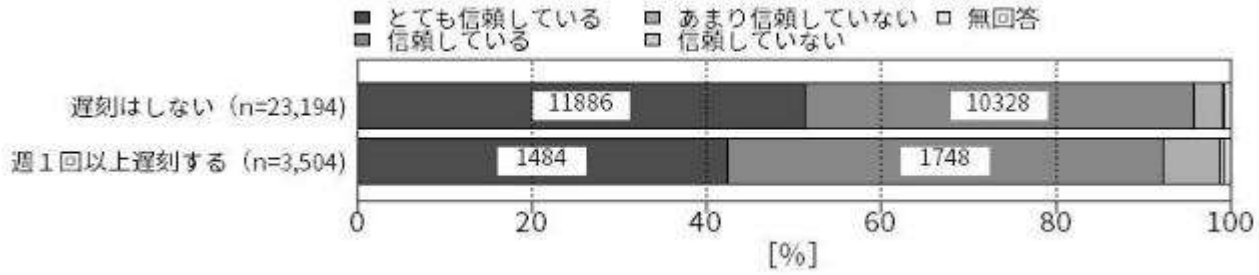



**図 232. 困窮度別に見た、授業以外の勉強時間と学習理解度の関連**

どの困窮度においても、勉強の理解度が低いほど勉強時間が短かった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）
（子ども票　問 9 × 保護者票　問 14(1)）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

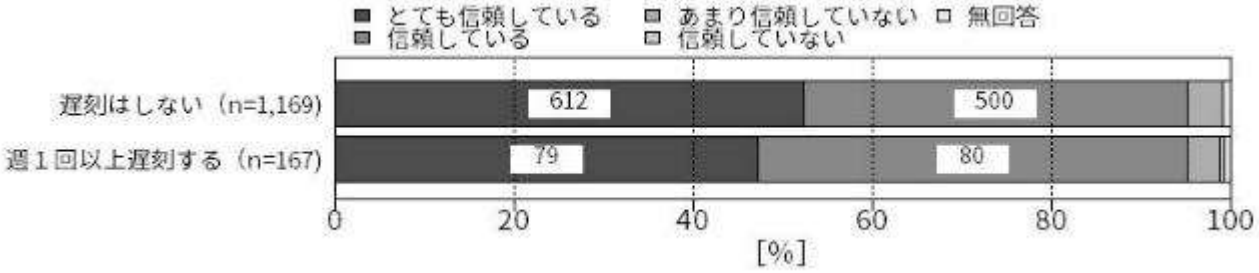


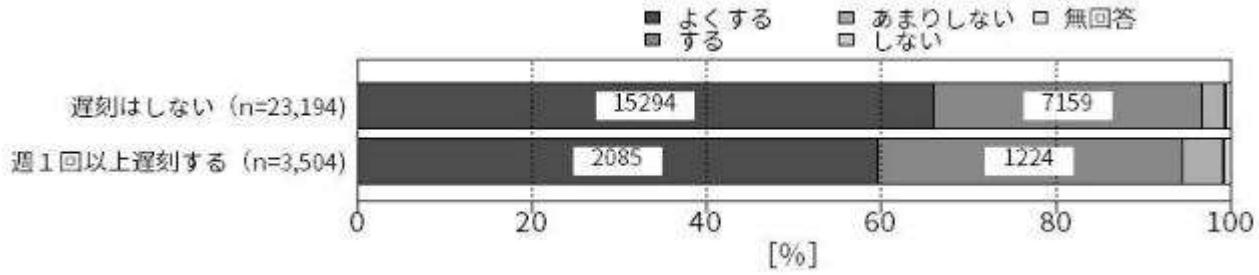

**図 233．学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）**

ここでは、子ども票問９において「遅刻はしない」と回答した子どもを「遅刻はしない」、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週１回以上遅刻する」としている。

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの信頼度）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は「あまり信頼していない」割合が 4.1%であった。「週１回以上遅刻する」子どもにおいては、保護者は「信頼していない」割合が 0.6%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）
（子ども票　問 9 × 保護者票　問 14(2)）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

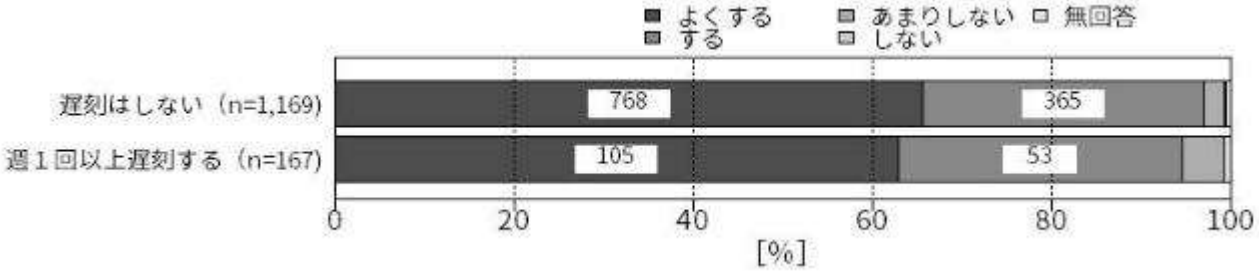


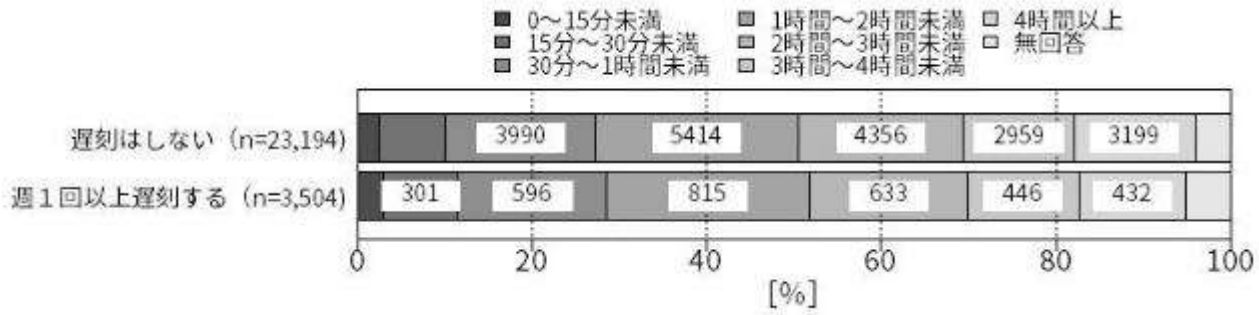

**図 234. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもと会話）**

ここでは、子ども票問９において「遅刻はしない」と回答した子どもを「遅刻はしない」、それ以外を選択した子ども（無回答除く）を「週１回以上遅刻する」としている。

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと会話）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は会話を「よくする」割合が 65.7%であった。「週１回以上遅刻する」子どもにおいては、保護者は会話を「あまりしない」割合が 4.8%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））
（子ども票　問 9 × 保護者票　問 14(3)）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

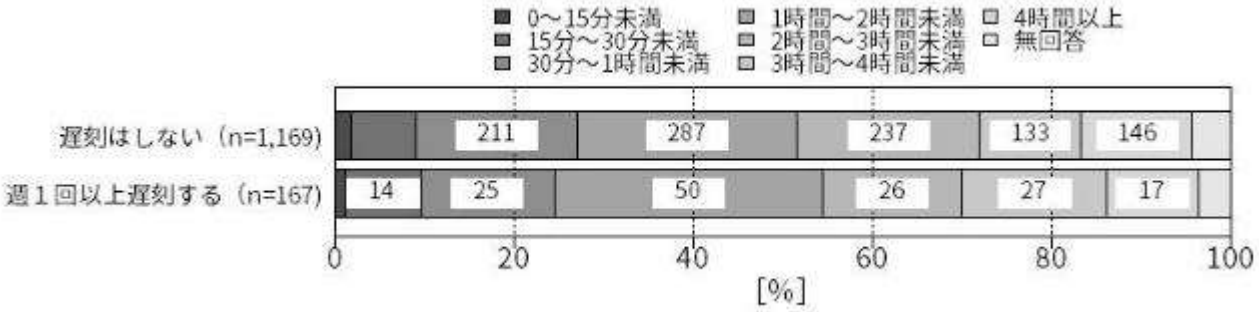
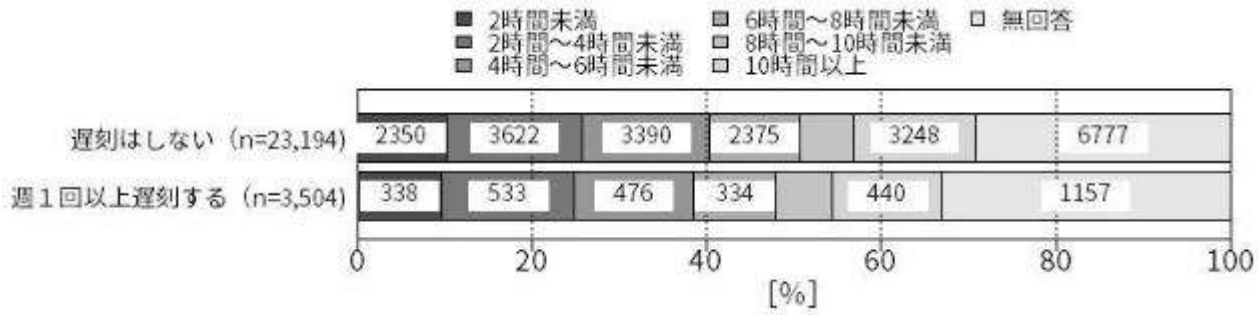



**図 235. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（子どもと一緒にいる時間（平日））**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（平日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者との関わりは「0～15 分未満」「2 時間～3 時間未満」の割合がそれぞれ 1.9%、20.3％であった。「週 1 回以上遅刻する」子どもにおいては、「1 時間～2 時間未満」「3 時間～4 時間未満」の割合がそれぞれ 29.9%、16.2％であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり（子どもと一緒にいる時間（休日））
（子ども票　問 9 × 保護者票　問 14(3)）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

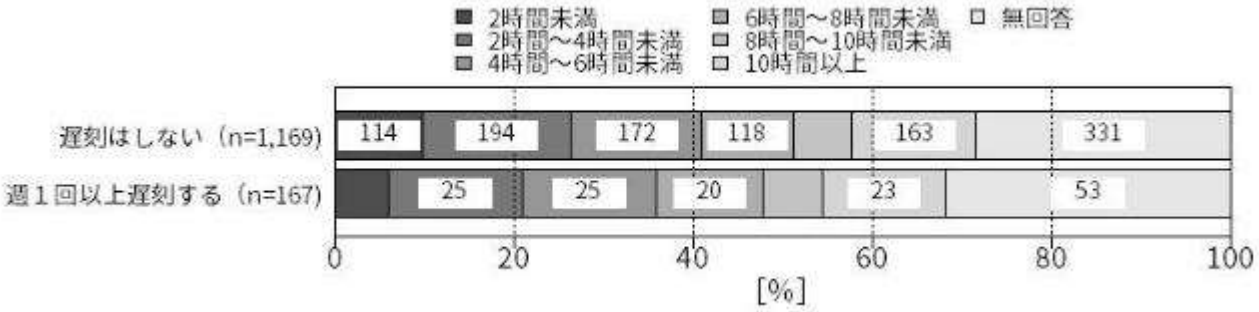
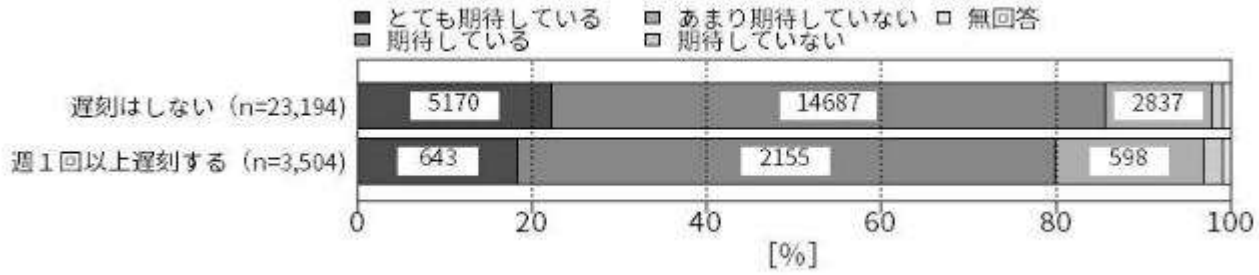



**図 236. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（子どもと一緒にいる時間（休日））**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもの一緒にいる時間（休日））を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者との関わりは「2 時間未満」「2 時間～4 時間未満」「4 時間～6 時間未満」の割合は、それぞれ 9.8%、16.6%、14.7%、であった。「週 1 回以上遅刻する」子どもにおいては、「2 時間未満」「2 時間～4 時間未満」「4 時間～6 時間未満」の割合は、それぞれ 6.0%、15.0%、15.0%であった。また、いずれも無回答の割合が高かった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
（子ども票　問 9 × 保護者票　問 14(4)）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

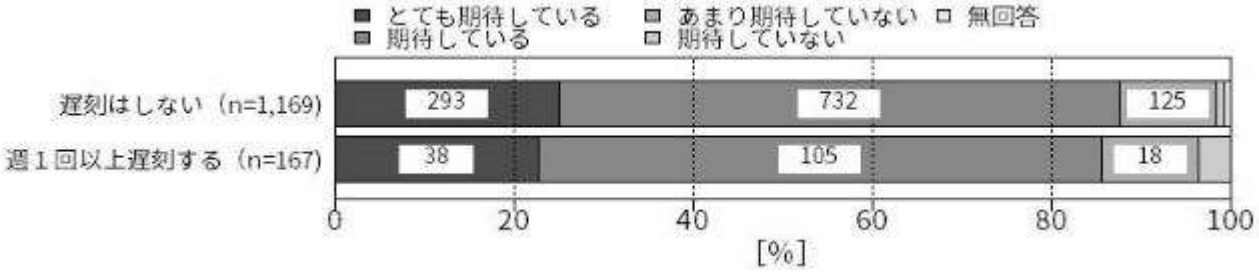
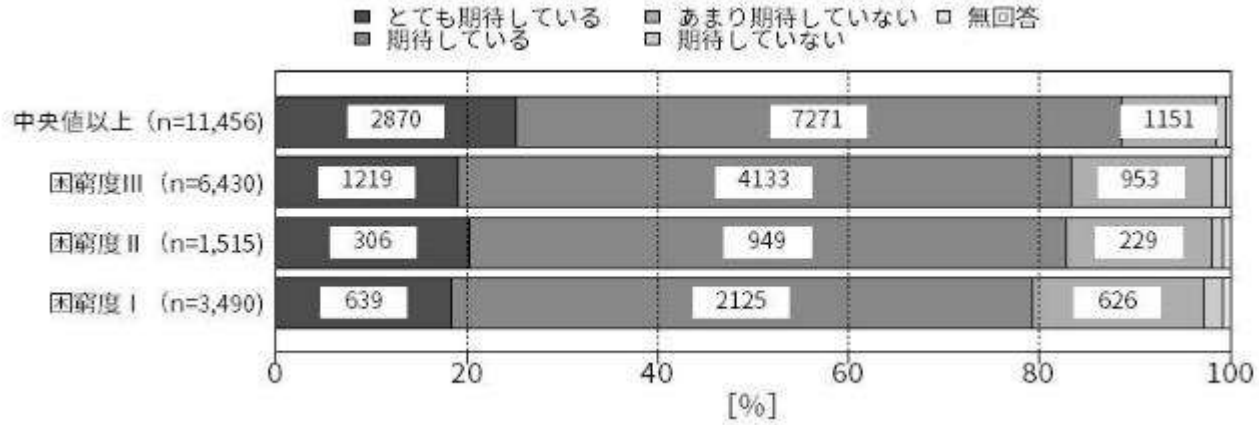



**図 237. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、「遅刻はしない」子どもにおいては、保護者は子どもの将来に「とても期待している」割合は、25.1%であった。「週 1 回以上遅刻する」子どもにおいては、22.8%であった。

困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）
（保護者票　問 14(4)）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

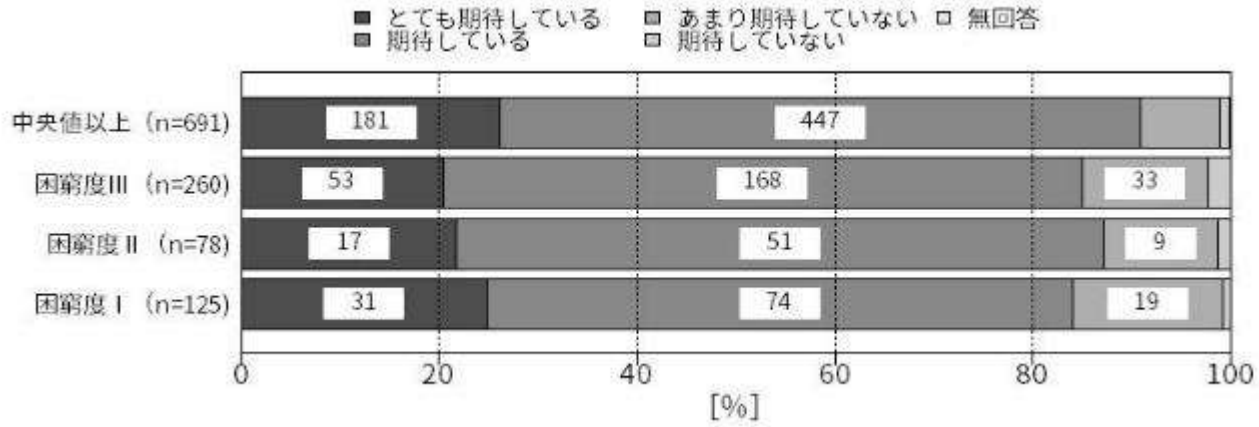
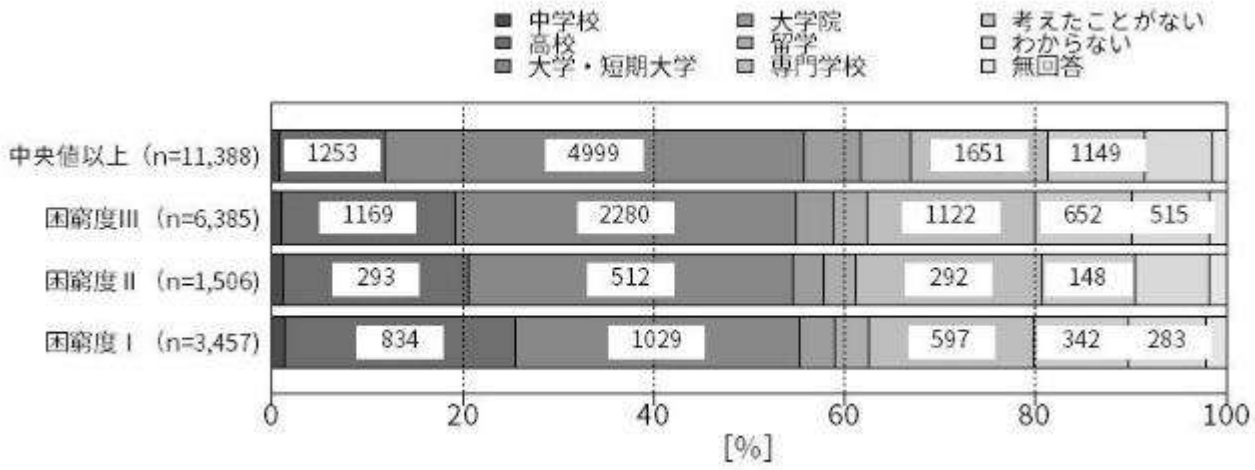



**図 238. 困窮度別に見た、保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）**

困窮度別に保護者と子どもの関わり（子どもへの将来の期待）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「あまり期待していない」「期待していない」が増える傾向にあった。困窮度 I 群では、「あまり期待していない」「期待していない」を合計すると 16.0%であった。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票　問 27）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

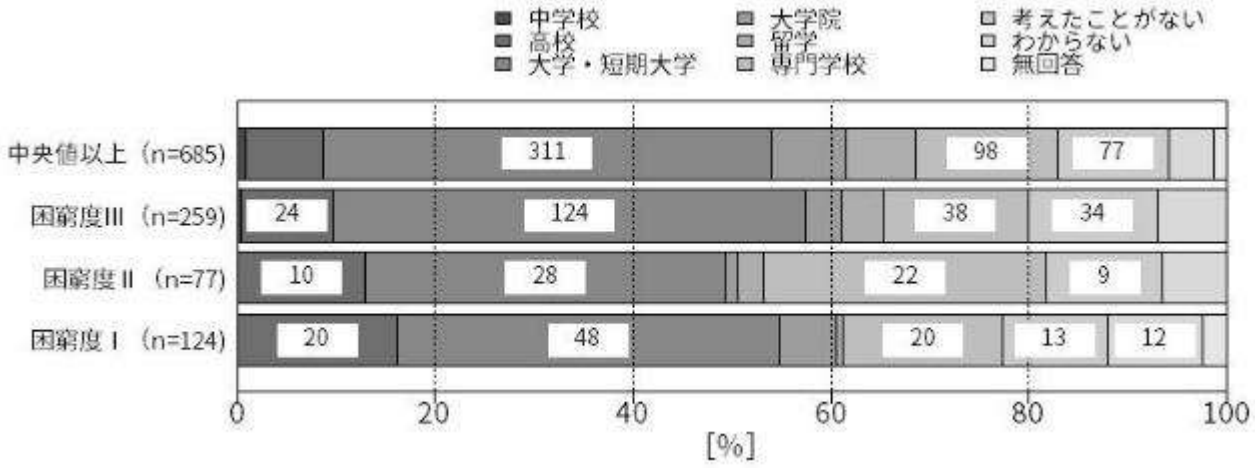
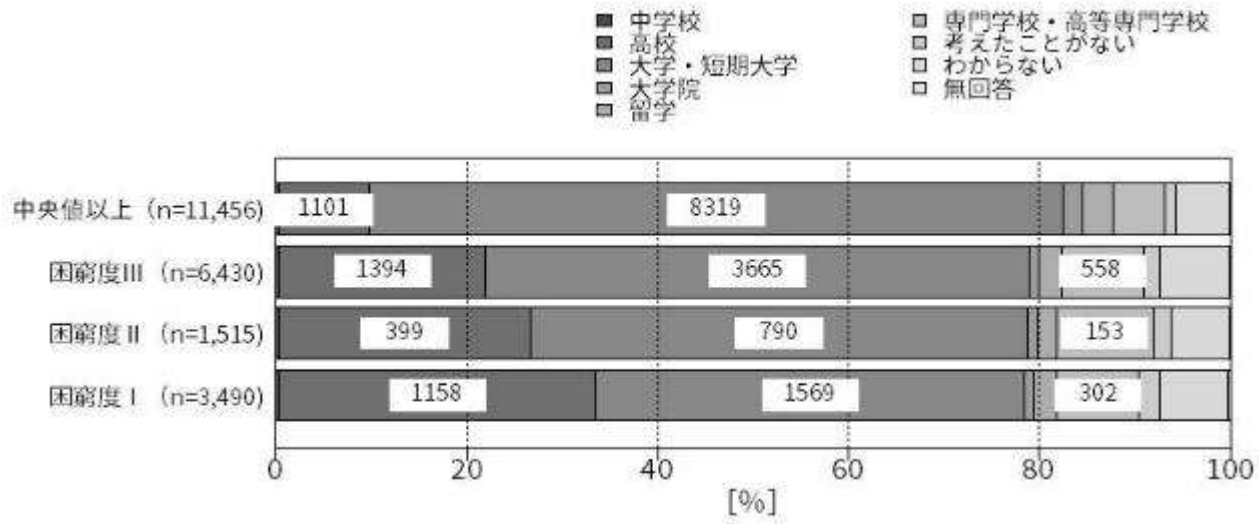



**図 239．困窮度別に見た、希望する進学先**

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合と「専門学校」と回答した子どもの割合が高くなっている。困窮度 I 群では、「中学校」「高校」と回答した子どもは合計 16.1%、「専門学校」と回答した子どもは 16.1%であった。中央値以上群において「大学・短期大学」と回答した割合は、45.4%であった。

困窮度別に見た、子どもの進学予測（保護者票　問 15）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

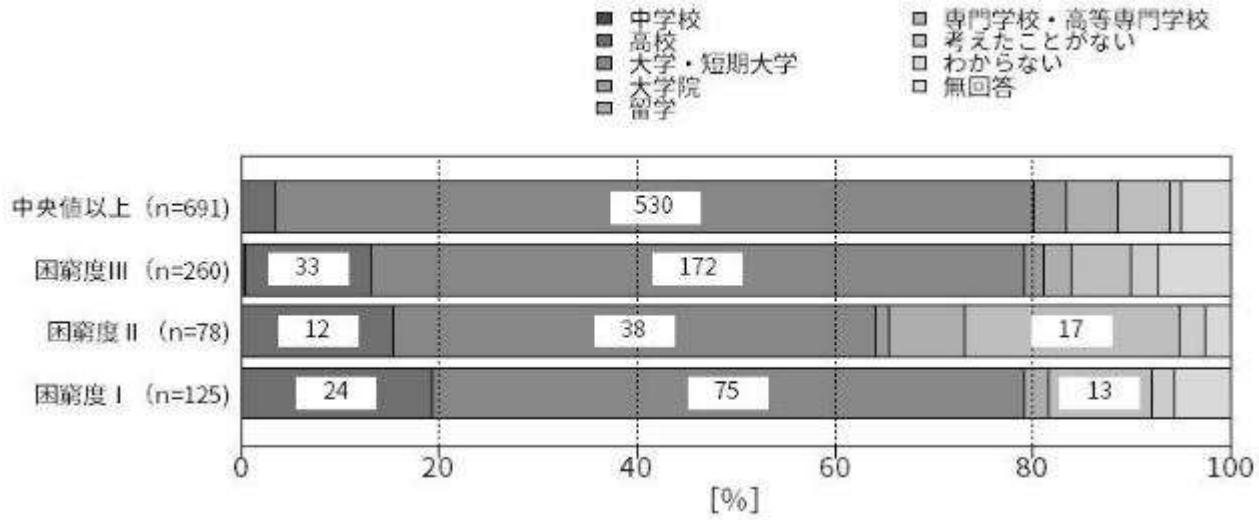
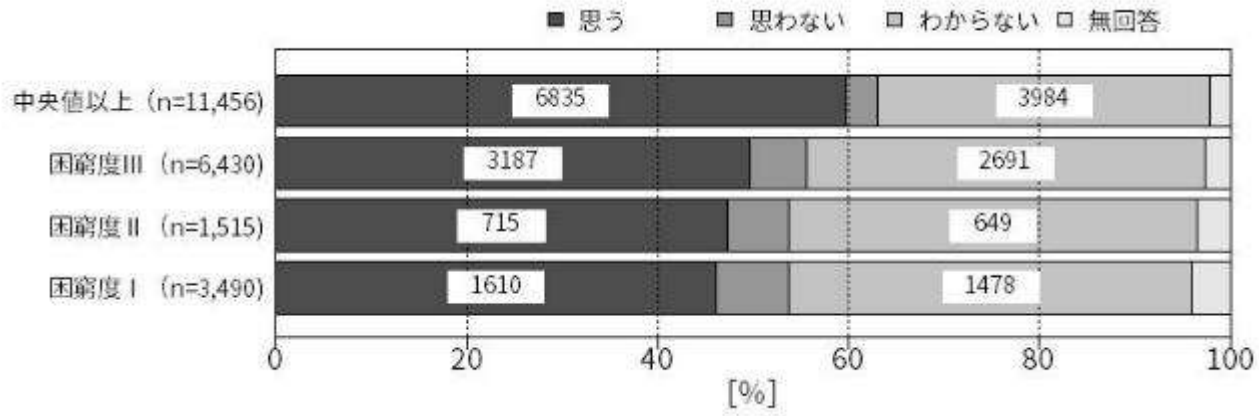



**図 240．困窮度別に見た、子どもの進学予測**

困窮度別に子どもの進学予測（保護者による）を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合が高くなっている。困窮度 I 群では、「中学校」「高校」と回答した人は合計 19.2%、「専門学校」と回答した人は 10.4%であった。中央値以上群において「大学・短期大学」と回答した割合は、76.7%であった。

困窮度別に見た、子どもの進学達成予測（保護者票　問 16）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

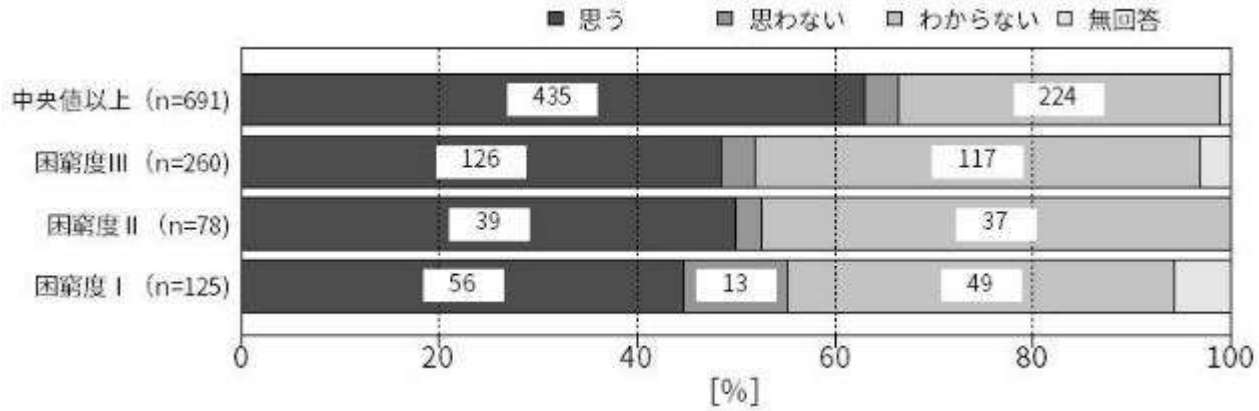
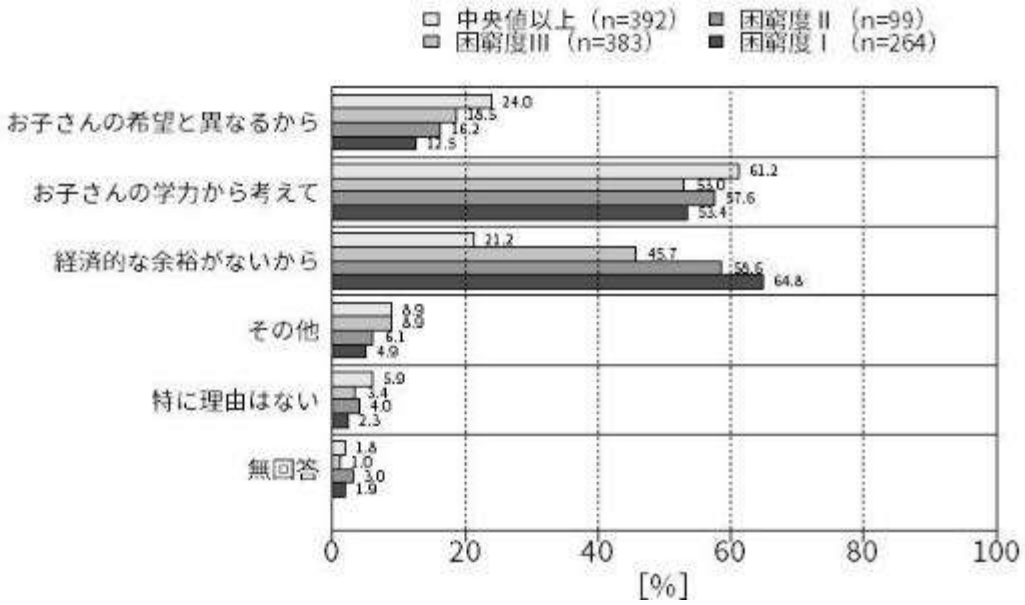



**図 241. 困窮度別に見た、子どもの進学達成予測**

困窮度別に子どもの進学達成予測（保護者による）を見ると、困窮度が高まるにつれ、「思う」と回答した保護者の割合が低くなる傾向にあった。困窮度 I 群では、「思わない」と回答した人は合計 10.4%であった。中央値以上群において「思う」と回答した割合は 63%であった。

困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由（保護者票　問 17）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

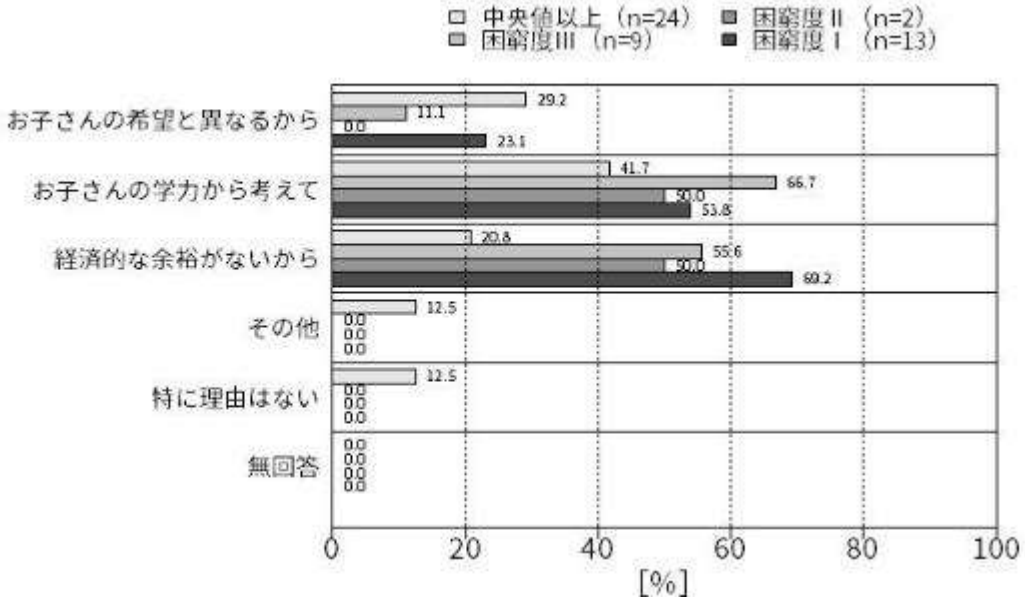
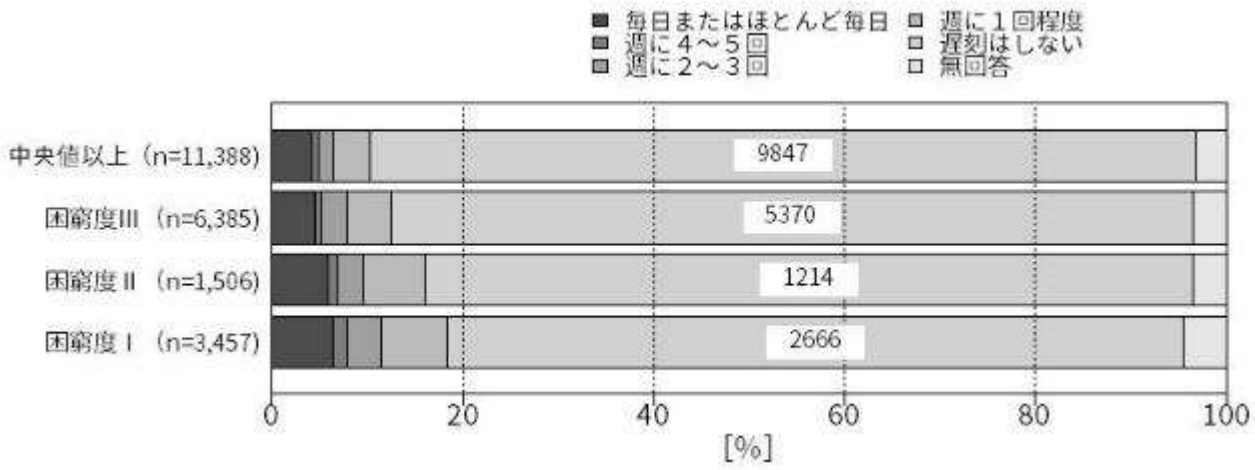



**図 242. 困窮度別に見た、子どもの進学達成「思わない」理由**

困窮度別に子どもの進学達成「思わない」理由（保護者による）を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群とで差が大きいのは「経済的な余裕がないから」、次いで「その他」である。困窮度Ⅰ群において「経済的な余裕がないから」と回答した人は 69.2%であった。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票　問 9）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

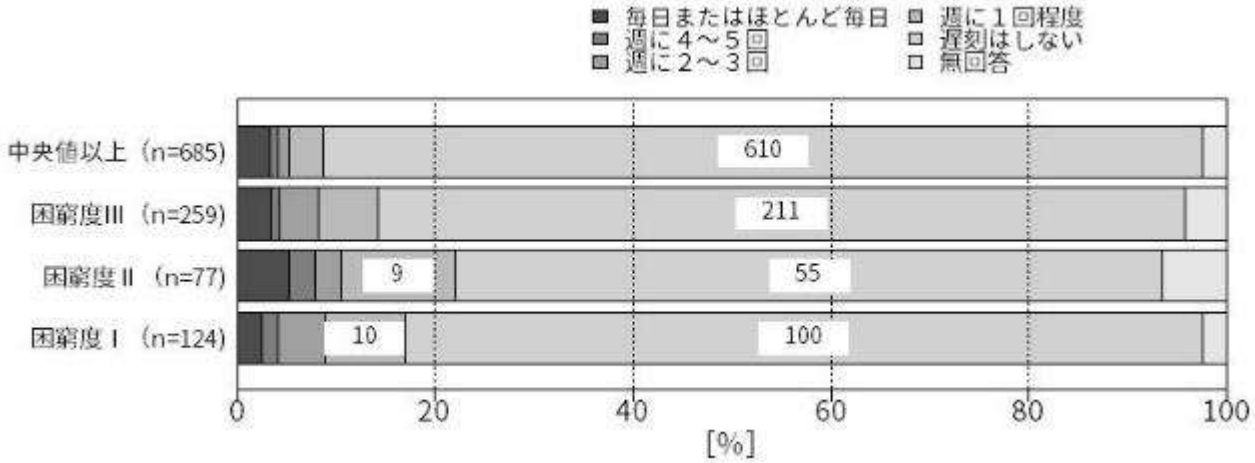
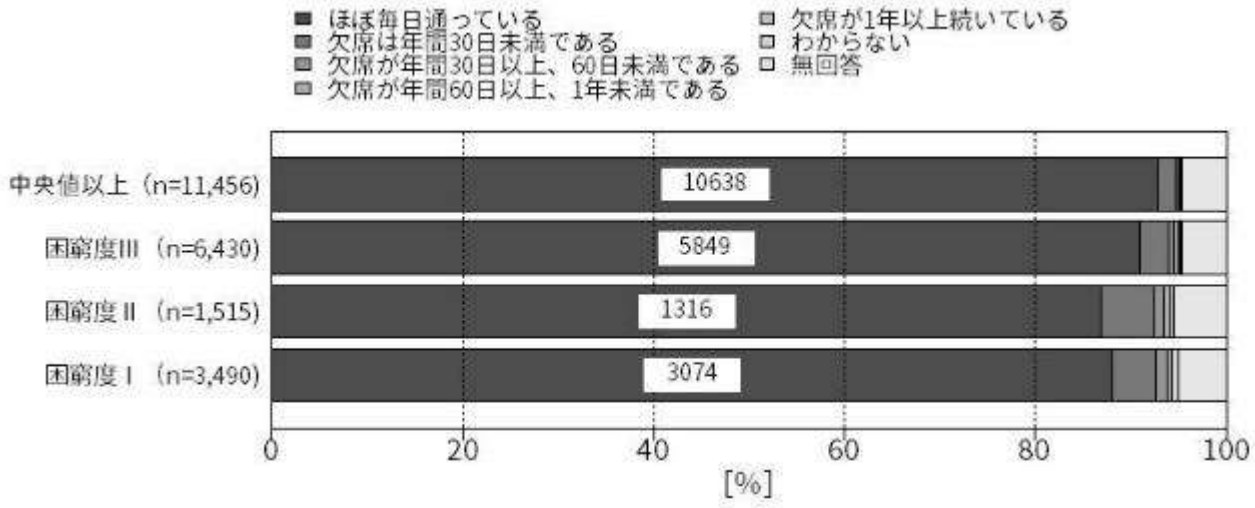



**図 243. 困窮度別に見た、学校への遅刻**

困窮度別に学校への遅刻を見ると、困窮度が高まるにつれ、週に１回以上遅刻をする子どもの割合が増える傾向にある。困窮度Ⅰ群では、週に１回以上遅刻をする割合は 16.9%であった。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票　問 21）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

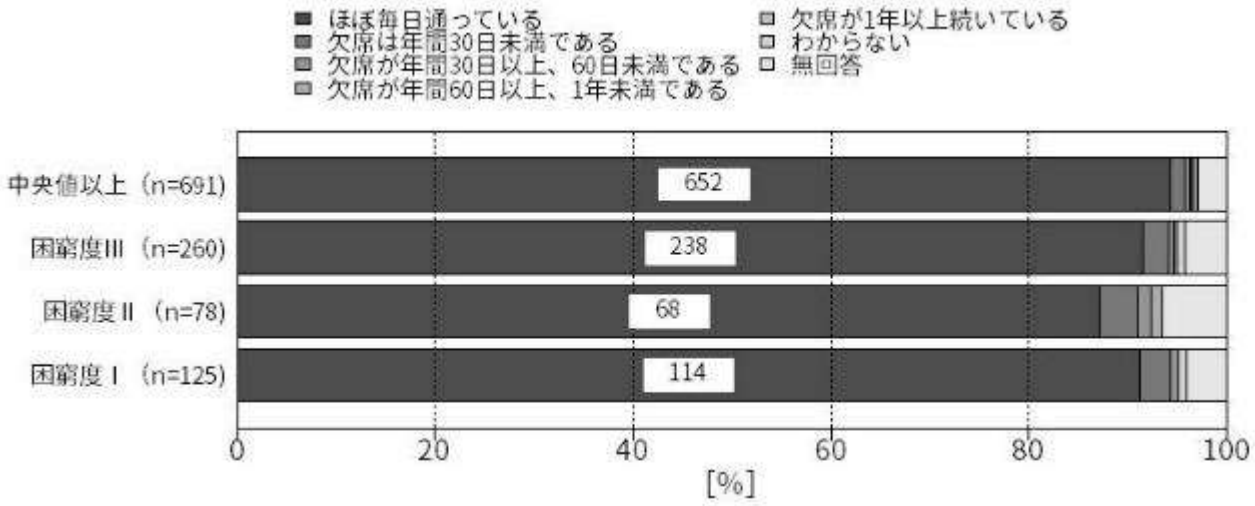
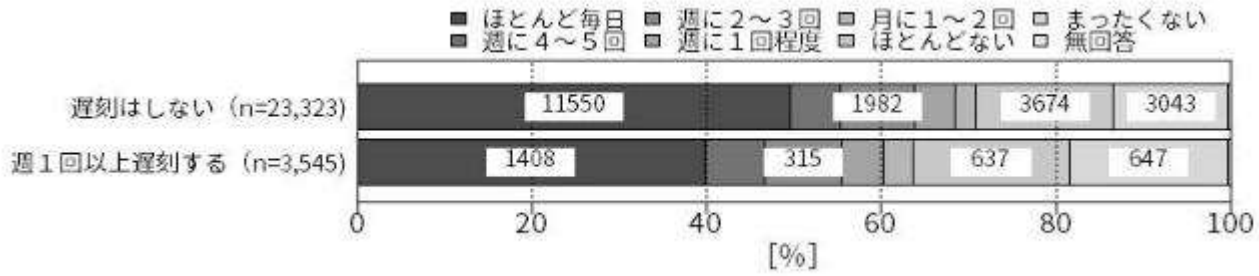



**図 244．困窮度別に見た、子どもの通学状況**

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、中央値以上群と困窮度 I 群では、年間 30 日以上欠席している割合はそれぞれ、1.0%、0.8%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人と朝食を食べるか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10①）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

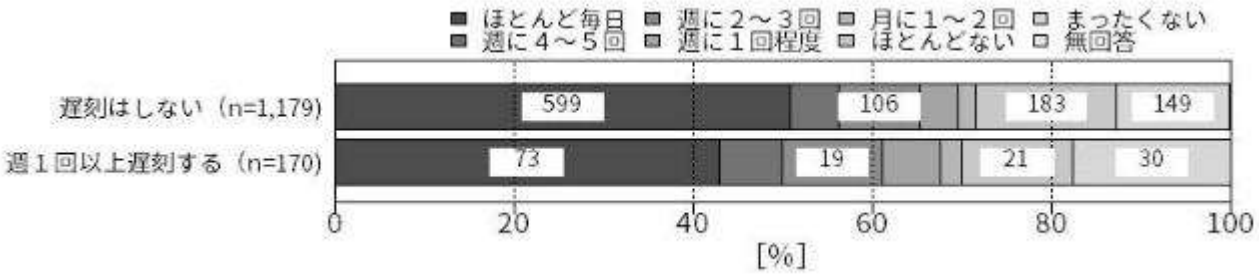
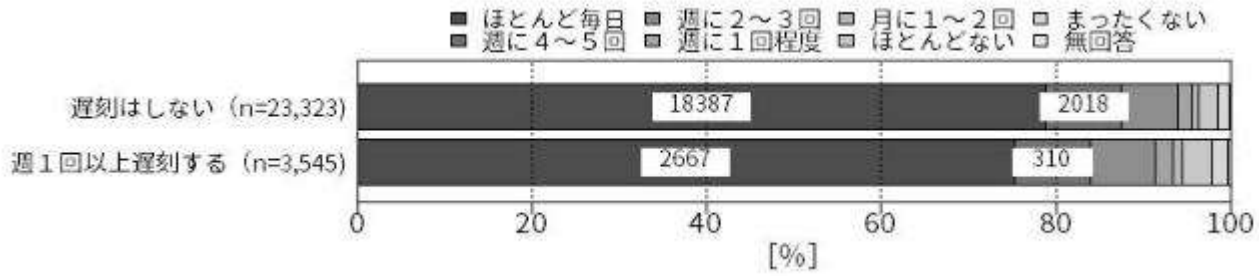



**図 245. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人と朝食を食べるか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が 42.9%であった。また、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると 30.0%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人と夕食を食べるか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10②）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

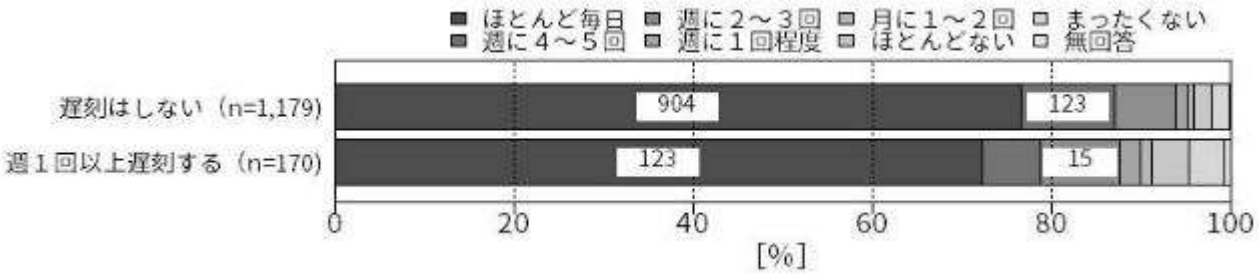
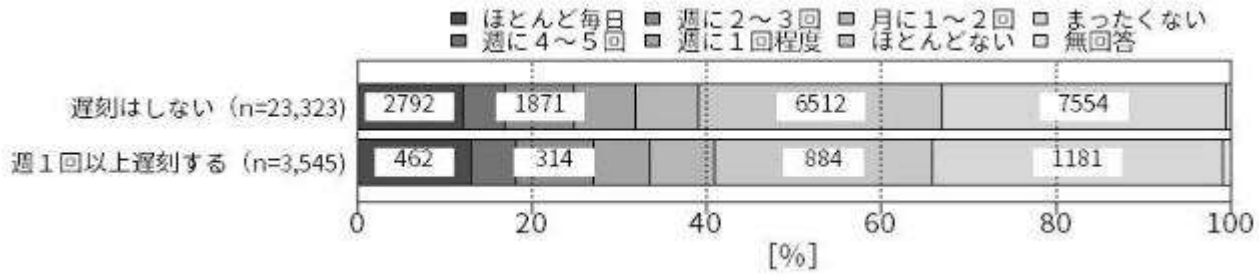



**図 246. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人と夕食を食べるか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が 72.4%であった。また、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合が高く、合計すると 8.2%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人に宿題をみてもらうか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10⑤）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

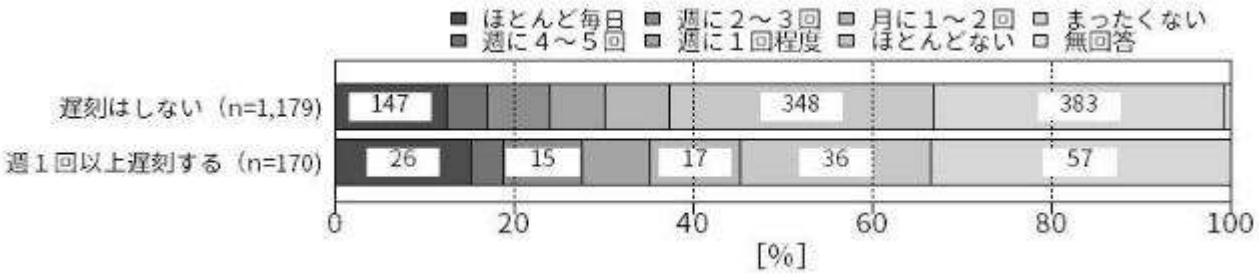
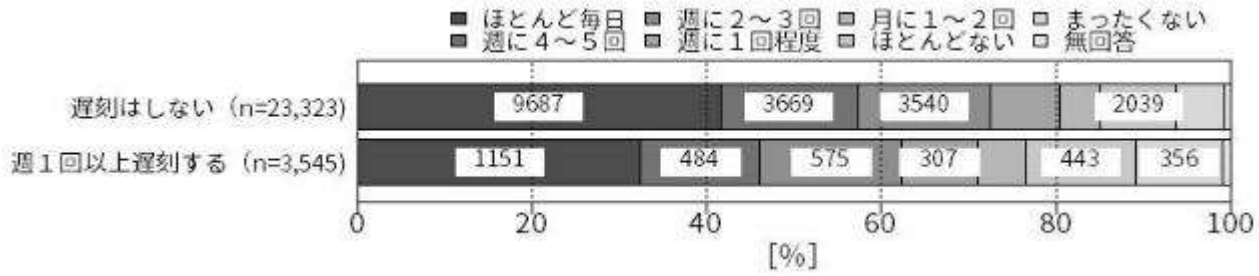



**図 247. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人に宿題をみてもらうか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合は合計すると 54.7%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人と学校の話をするか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10⑥）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

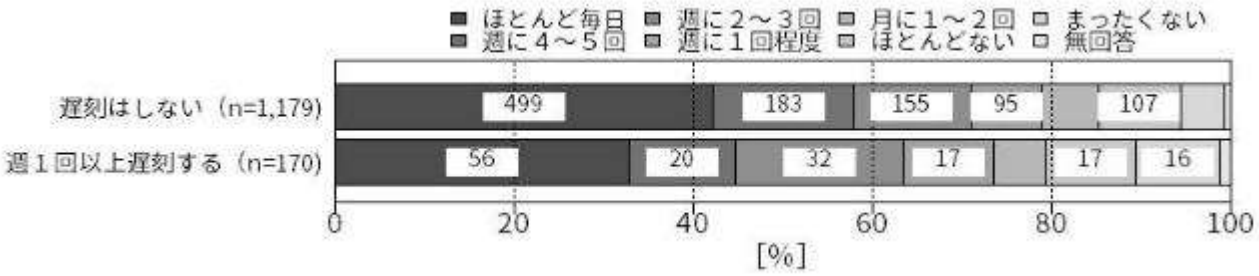



**図 248. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人と学校の話をするか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは、「ほとんどない」「まったくない」と回答した割合は合計すると 19.4%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10⑦）

＜大阪市 24 区＞

＜大阪市阿倍野区＞

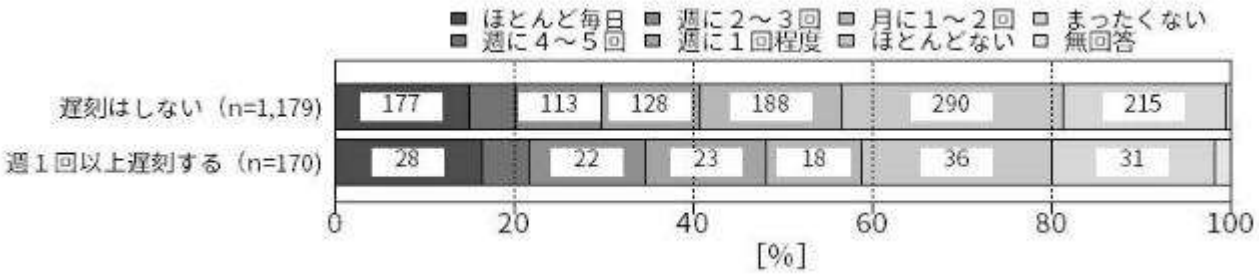



**図 249. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）を見ると、大きな差は見られなかった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人と社会のできごとを話すか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10⑧）

＜大阪市 24 区＞

＜大阪市阿倍野区＞

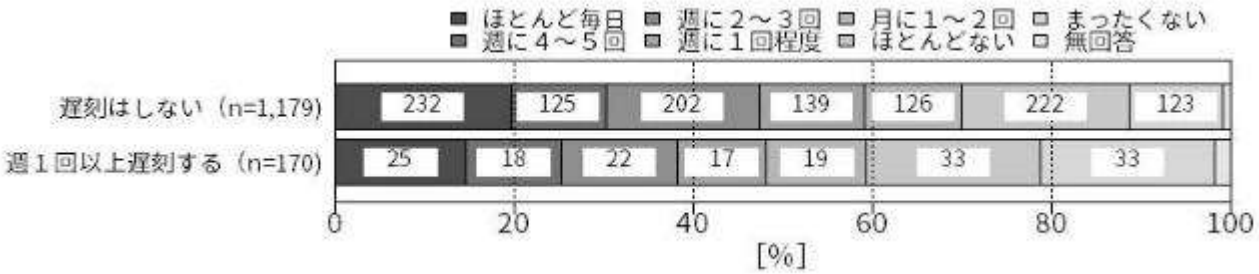
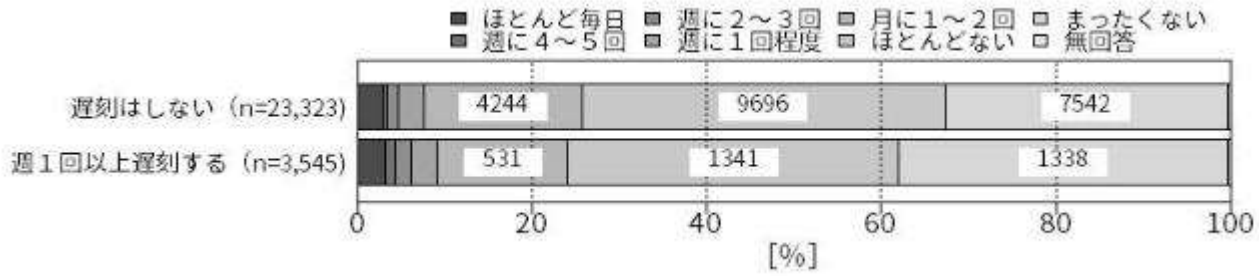



**図 250. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人と社会のできごとを話すか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは、「まったくない」と回答した割合が 19.4%であった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人と文化活動をするか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10⑨）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

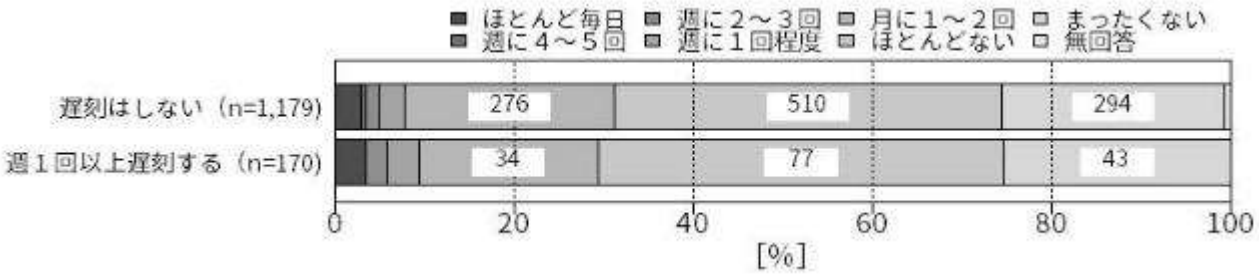
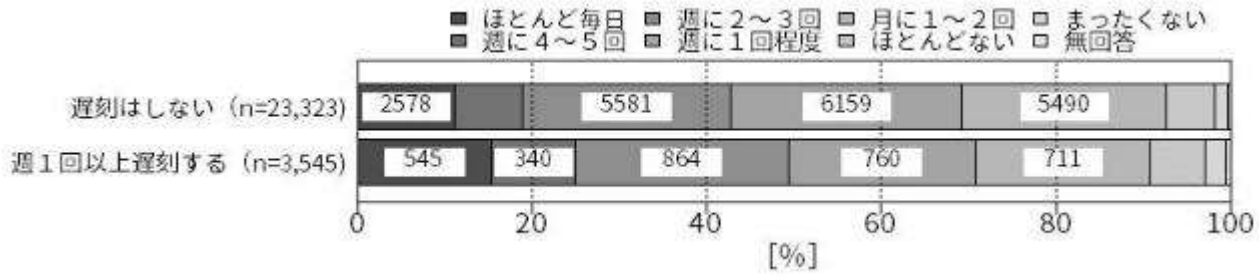



**図 251．学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人と文化活動をするか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）を見ると、大きな差は見られなかった。

学校への遅刻別に見た 、保護者と子どもの関わり
（おうちの大人と一緒に外出するか）（子ども票　問 9 × 子ども票　問 10⑩）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

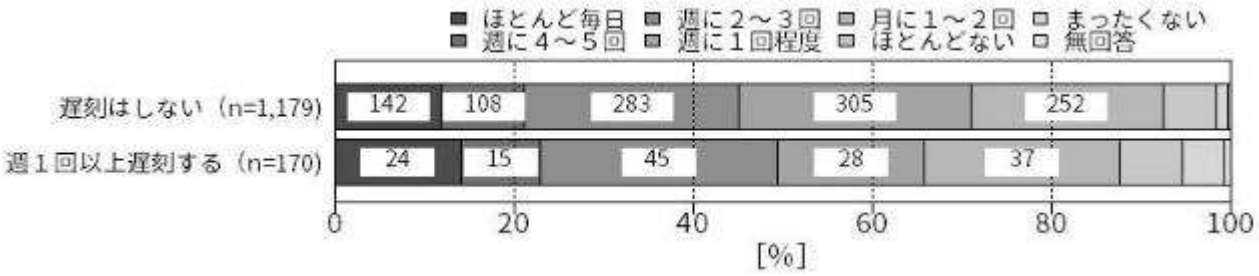
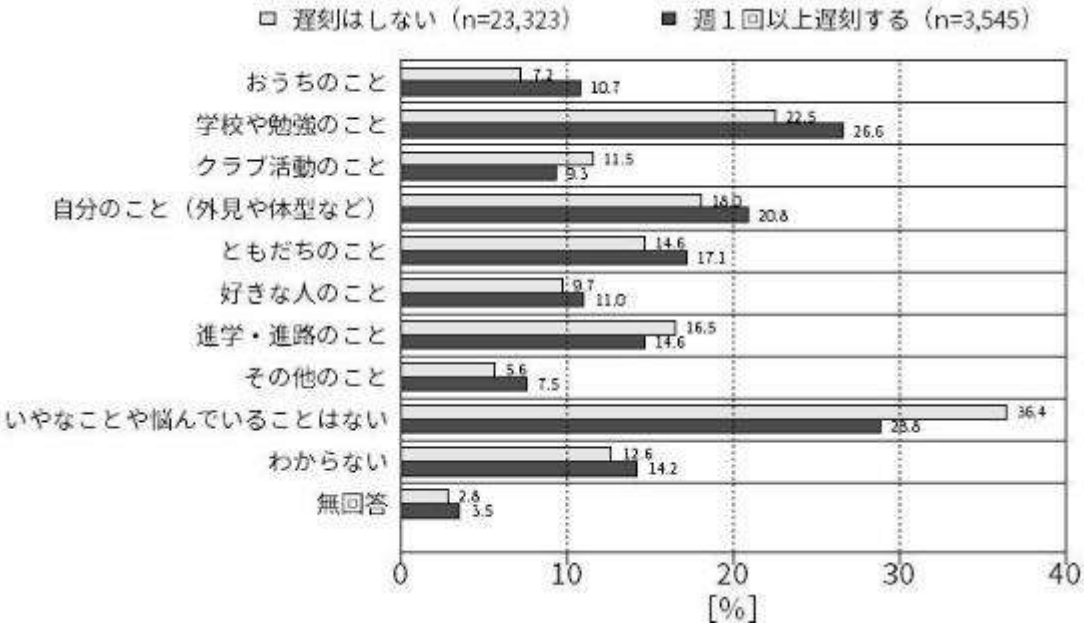



**図 252. 学校への遅刻別に見た、保護者と子どもの関わり**
**（おうちの大人と一緒に外出するか）**

学校への遅刻別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは、「ほとんど毎日」と回答した割合が 14.1%であった。

学校への遅刻別に見た 、悩んでいること（子ども票　問 9 × 子ども票　問 21）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

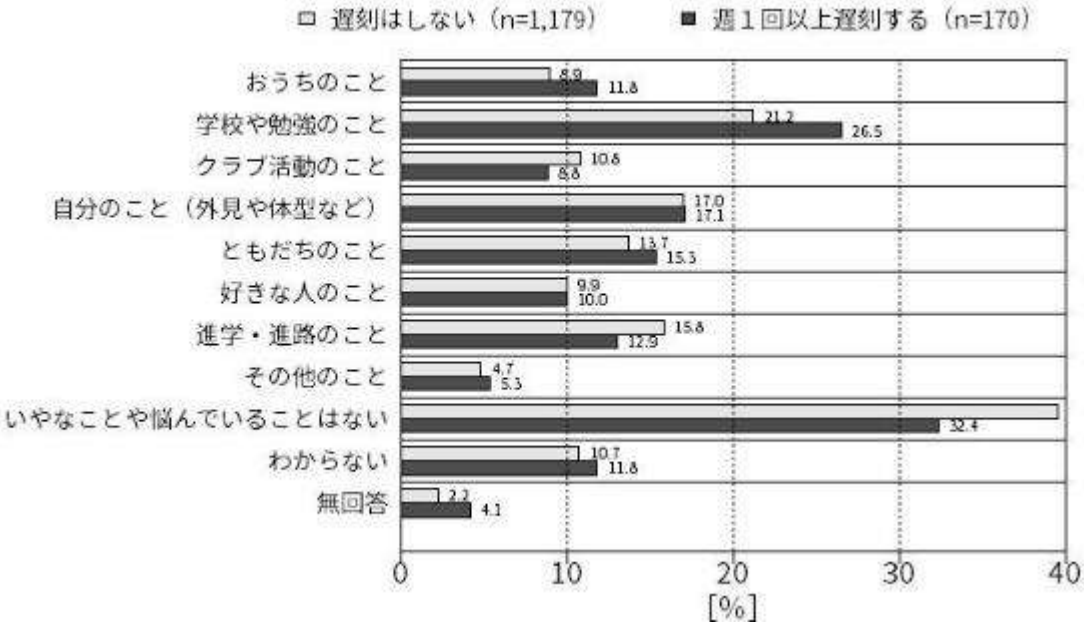
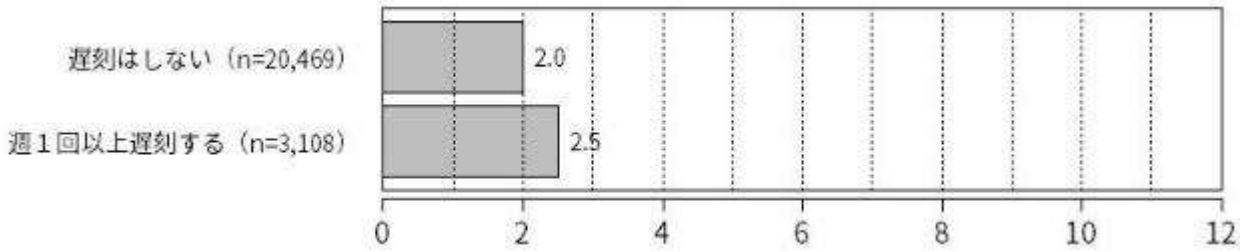



**図 253. 学校への遅刻別に見た、悩んでいること**

学校への遅刻別に子どもが悩んでいることを見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもの方が「遅刻はしない」子どもよりも、「自分のこと（外見や体型など）」では 0.1 ポイント 、「おうちのこと」では 2.9 ポイント、「学校や勉強のこと」では 5.3 ポイント、回答した割合が高い。また、「遅刻はしない」子どもにおいては、「いやなことや悩んでいることはない」と回答した割合が 39.5%であった。

学校への遅刻別に見た 、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
（子ども票　問 9 × 子ども票　問 24）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

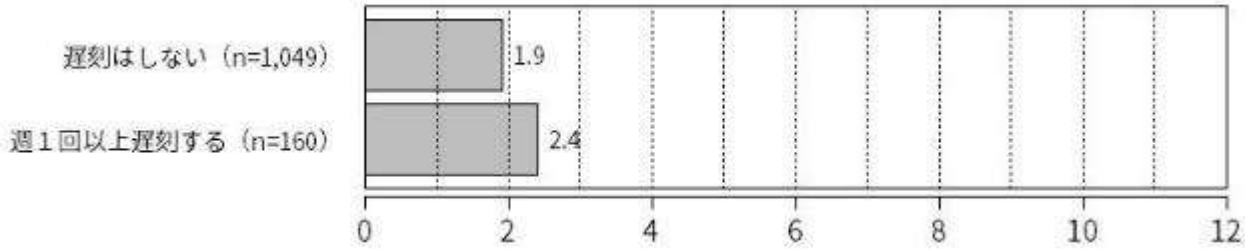


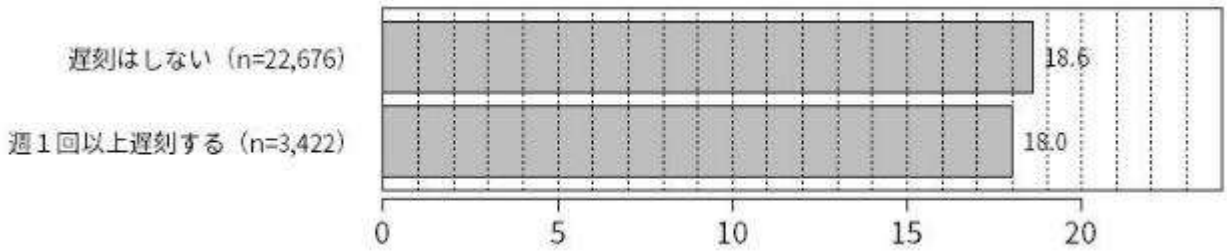

**図 254. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数**

学校への遅刻別に子どもが自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは、自分の体や気持ちで気になることが平均 2.4 個該当している。

学校への遅刻別に見た 、子どものセルフ・エフィカシー
（子ども票　問 9 × 子ども票　問 26(1)～(6)）

※子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）については図 148 上の説明参照。

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

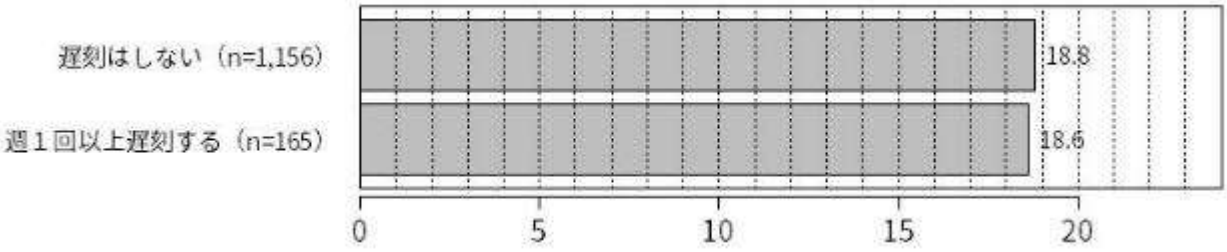
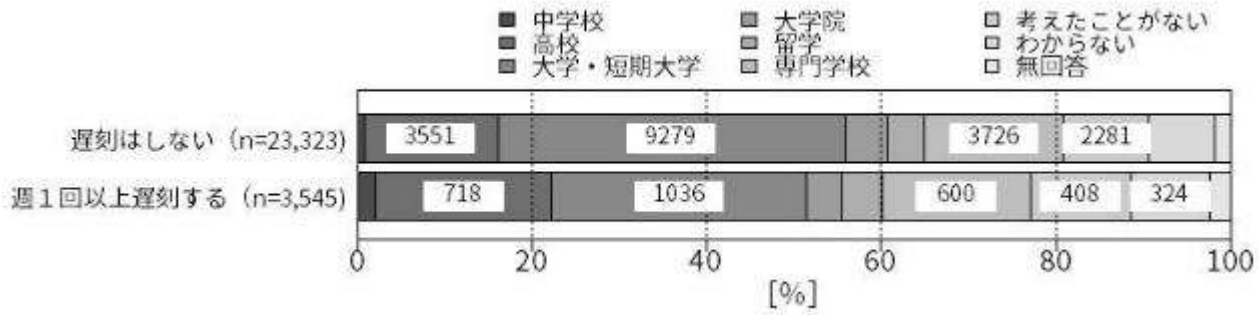



**図 255. 学校への遅刻別に見た、子どものセルフ・エフィカシー**

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは 18.6 点、「遅刻はしない」子どもは 18.8 点であった。

学校への遅刻別に見た 、希望する進学先（子ども票　問 9 × 子ども票　問 27）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

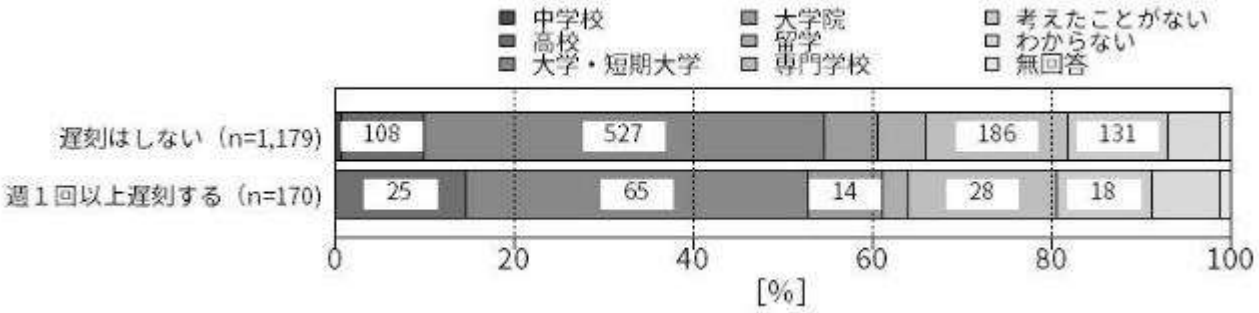


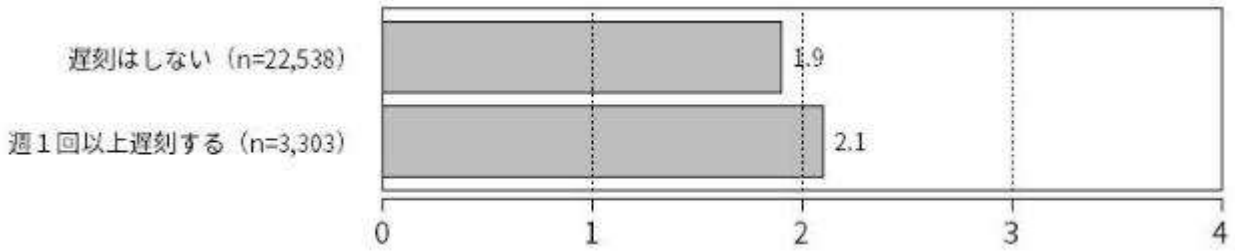

**図 256. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先**

学校への遅刻別に子どもの希望する進学先を見ると、「週１回以上遅刻する」子どもは「中学校」「高校」と回答した割合は合計すると 14.7%であった。「遅刻はしない」子どもは、「大学・短期大学」と回答した割合が 44.7%であった。

学校への遅刻別に見た 、学習理解度（子ども票　問 9 × 子ども票　問 18）

※学習理解度について、「1. よくわかる」～「4. ほとんどわからない」まで 4 項目で評定させた。数値が低いほど、学習理解度が高いことを表す。

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

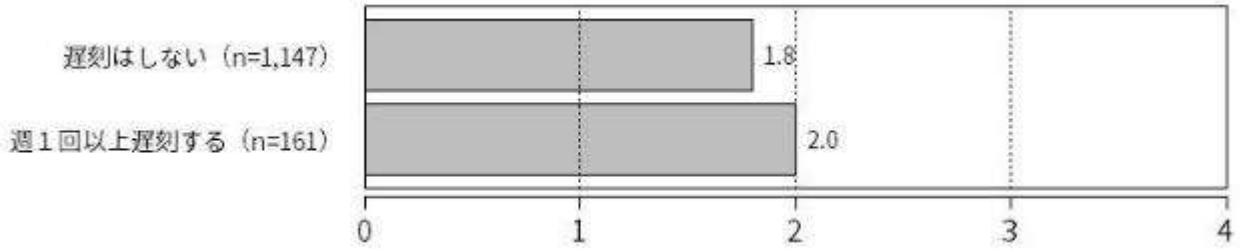
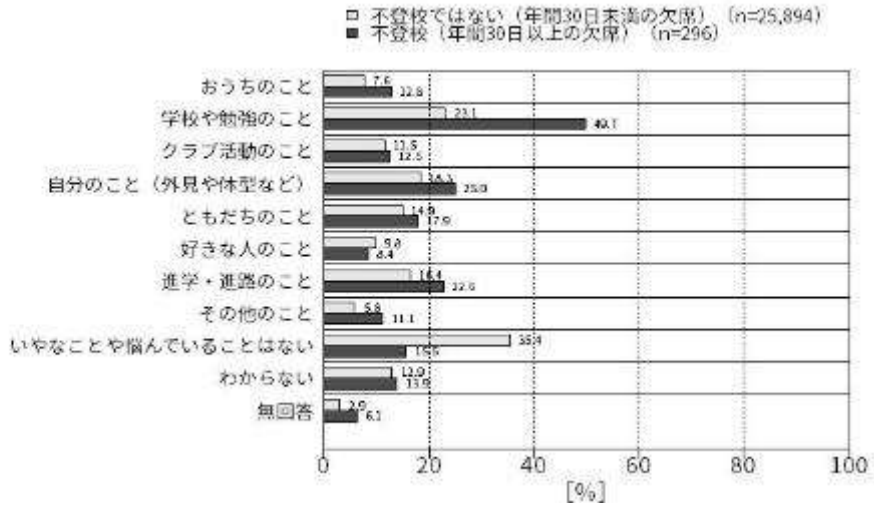



**図 257. 学校への遅刻別に見た、学習理解度**

学校への遅刻別に子どもの学習理解度を見ると、「週 1 回以上遅刻する」子どもは「遅刻はしない」子どもよりも学習理解度がやや低い。

登校状況別に見た 、悩んでいること（保護者票　問 21 × 子ども票　問 21）

＜大阪市 24 区＞




＜大阪市阿倍野区＞

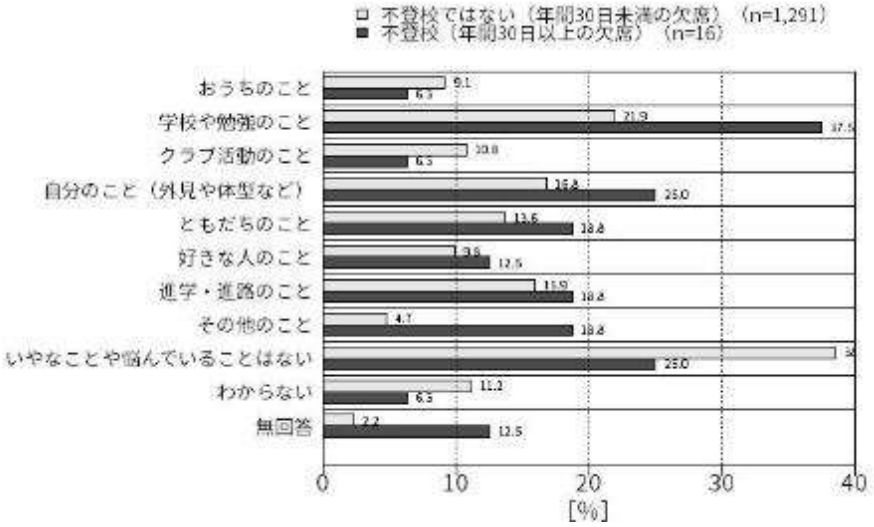



**図 258. 登校状況別に見た、悩んでいること**

ここでは、保護者票問 18 において「ほぼ毎日通っている」「欠席は年間 30 日未満である」を「不登校ではない」、「欠席が年間 30 日以上、60 日未満である」「欠席が年間 60 日以上、 1 年未満である」「欠席が 1 年以上続いている」を「不登校」としている。

登校状況別に子どもの悩んでいることを見ると、「その他のこと」に悩んでいる子どもは「不登校」において「不登校ではない」の 4 倍、「学校や勉強のこと」に悩んでいる子どもは「不登校」において「不登校ではない」の 1.7 倍、「自分のこと（外見や体型など）」に悩んでいる子どもは「不登校」において「不登校ではない」の 1.5 倍となっている。また、「不登校でない」子どもでは、「いやなことや悩んでいることはない」に該当するのは 38.6%であった。